

第80回日本公衆衛生学会総会

社会医学系専門医制度 専門医・指導医講習会 2021/12/21

# 社会医学系専門医制度の 現況

今中 雄一

社会医学系専門医協会 理事長

京都大学 大学院医学研究科  
社会健康医学系専攻 専攻長  
医療経済学分野 教授

# 第C O I 開示

演者名： 今中 雄一

演題発表に関連し、開示すべき  
C O I 関係にある企業などはあ  
りません。

- 日本衛生学会
  - 日本産業衛生学会
  - 日本公衆衛生学会
  - 日本疫学会
  - 日本医療・病院管理学会
  - 日本医療情報学会
  - 日本災害医学会
  - 日本職業・災害医学会
  - 全国衛生部長会
  - 全国保健所長会
  - 地方衛生研究所全国協議会
  - 全国機関衛生学公衆衛生学教育協議会
  - 日本医師会
  - 日本医学会連合
- 日本専門医機構、厚生労働省と連携

## 社会医学系専門医制度

2017年4月開始

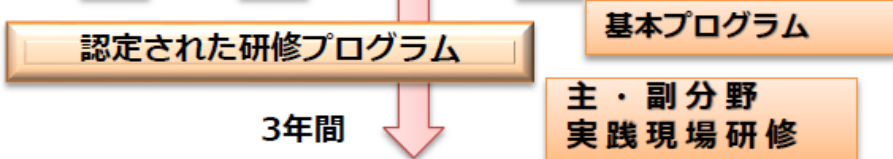
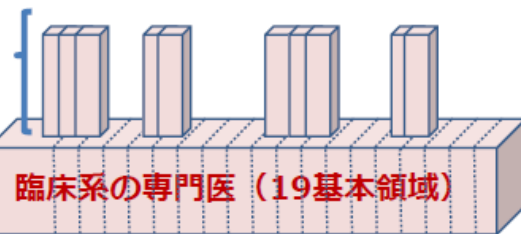
### 社会医学系専門医



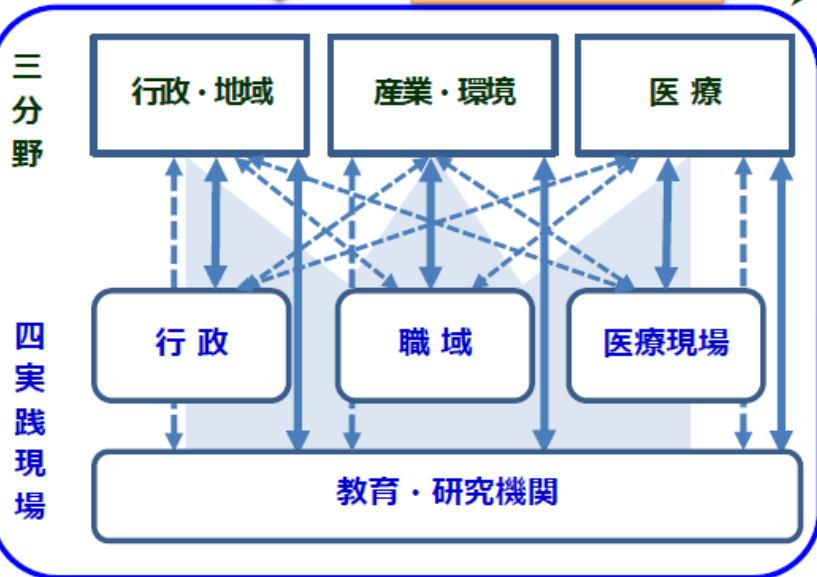
柔軟な協働・往来

サブスペシャリティ

### 日本専門医機構



- 国立保健医療科学院
- 公衆衛生大学院等大学院
- 講習会@各学会
- e-ラーニング
- その他



1. 公衆衛生総論
2. 保健医療政策
3. 疫学・医学統計学
4. 行動科学
5. 組織経営・管理
6. 健康危機管理
7. 環境・産業保健

### 社会医学系専門医試験

専門医



サブスペシャリティ専門医コース  
・産業衛生  
・その他

社会医学系専門医  <http://shakai-senmon-i.umin.jp/>

人材像・活動領域

- ・ 地域や国の保健・医療・福祉・環境行政に携わる人材
- ・ 環境衛生、衛生研究所・環境研究所等の研究に携わる人材
- ・ 感染症対策、災害時の保健医療活動に携わる人材
- ・ 産業衛生など職域集団の健康維持・増進を担う人材、産業医
- ・ 大学等で研究・教育を担い、地域や国の保健・医療・福祉・環境保全の活動、制度やシステムに携わる人材
- ・ 国際保健（コミュニティ、国のシステム）に携わる人材（国際機関、NGO、JICAなど）
- ・ 保健・医療・福祉などの組織管理、質・安全の管理、リスク管理・危機管理、情報管理を担う人材、それらの評価・向上を担う人材、それらに関わる政策づくりに携わる人材
- ・ 保健・医療・福祉・環境分野における関連研究開発（臨床研究含む）と開発物の社会実装、およびその過程の制度的側面・倫理的側面の評価・支援・指導に携わる人材
- ・ 医療・健康の関連産業・企業等に関わる人材

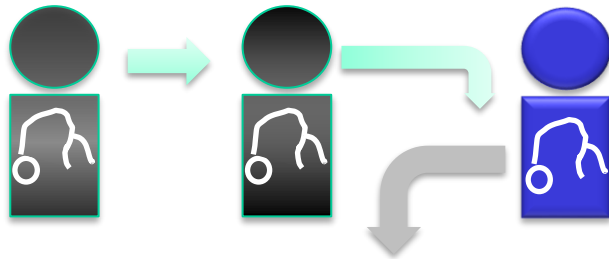
# 社会医学系専門医研修の概要

## 基本プログラム

専門医

指導医

専攻医



- ✓ 国立保健医療科学院
- ✓ 公衆衛生大学院等大学院
- ✓ 講習会@各学会
- ✓ e-ラーニング
- ✓ その他

1. 公衆衛生総論
2. 保健医療政策
3. 疫学・医学統計学
4. 行動科学
5. 組織経営・管理
6. 健康危機管理
7. 環境・産業保健

三分野

行政・地域

産業・環境

医療

四実践現場

行政

職域

医療現場

教育・研究機関

## 実践現場研修

3年間

社会医学系専門医試験



専門医

サブスペシャリティ  
専門医コースへ

社会医学系専門医

検索





## 専門医の使命

---

- 本領域の専門医は、医師としての使命感、倫理性、人権尊重の意識、公共への責任感を持ち、医学を基盤として保健・医療・福祉サービス、環境リスク管理および社会システムに関する広範囲の専門的知識・技術・能力を駆使し、人々の命と健康を守ることを使命とする。



# 社会医学系専門医研修プログラム

---

1) 認定状況(2021年4月現在)  
認定75プログラム

2) 内訳

複数プログラム都府県:茨城、埼玉、東京、神奈川県、  
静岡、愛知、奈良、大阪、岡山、高知、熊本

広域プログラム:国立災害医療センター、国立保健  
医療科学院、産業医科大学、労働者健康安全機構  
東日本、厚生労働省検疫所、厚生労働省医系技官

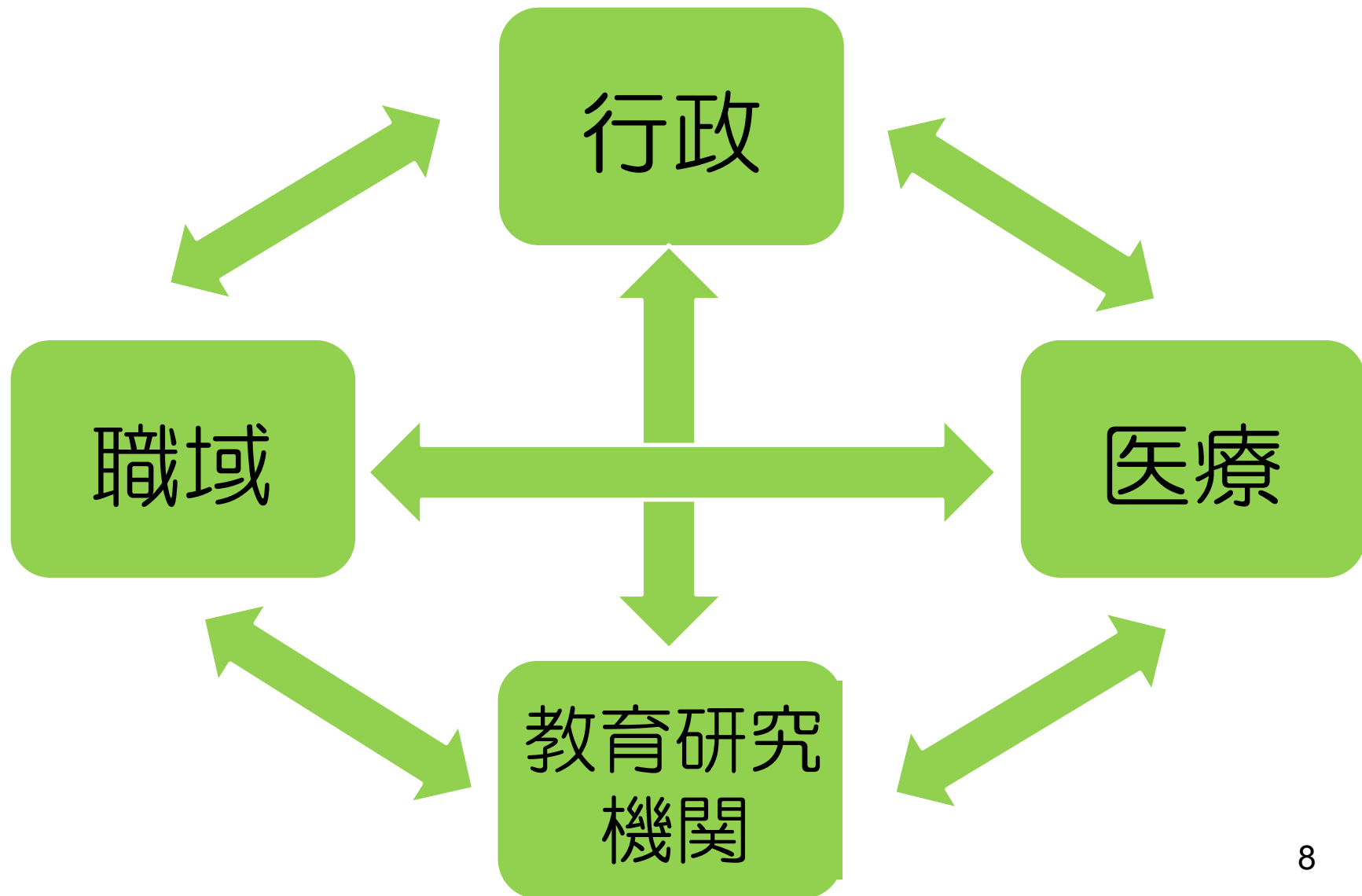


# 専門医試験

---

- 3年(以上)の専攻医を修了し
  - 専門医試験を受験・合格し
  - 専門医となる
- 
- 2019年から開始、
  - 2021年9月には第3回の専門医試験を実施

# 社会医学系分野のネットワーク強化を！





# 社会医学系専門医制度

☆ 個の力も、

☆ システムの力も、

次第に向上させていくのがねらい

- All Japanでネットワーク力強化
- **若手訓練 + 生涯学習（継続的向上）**  
の機会の充実



お知らせ

概要

専門医制度

研修プログラム

講習会

Q&A

情報発信

TOP > 情報発信

当ページのコンテンツ

🕒 PR動画

🕒 PR漫画

🕒 インタビュー記事

## 情報発信

社会医学系専門医について（約2分）



社会医学系専門医について（PR動画）



後で見る



共有



# 動画

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/info/>

## 社会医学系専門医について(約2分)



**授業で  
使えます!**

今や、その境界線はファジーとなり、両者が融合してきている

# まんが 社会医学系専門医 への道



PDF  
ダウンロード  
できます！

# 連載インタビュー記事【連載】社会医学系専門医の「いま・未来」



<http://shakai-senmon-i.site/rinji/>

# 連載インタビュー記事【連載】社会医学系専門医の「いま・未来」



## 連載インタビュー記事【連載】社会医学系専門医の「いま・未来」

---

- ◎ 【第11回】 世界中の仲間と手を取り合い、国際保健の課題に立ち向かう（2021年12月3日）【WHO 事務局長補 山本 尚子先生】
- ◎ 【第10回】 目指すのは「本当の意味で」社会にインパクトを与える研究（2021年11月19日）【カリフォルニア大学ロサンゼルス校 フィールドینگ公衆衛生大学院疫学科 Assistant Professor 西晃弘先生】
- ◎ 【第9回】 被災地に思いを寄せ続け、健康危機管理のスキームを整える（2021年11月11日）【厚生労働省健康局健康課地域保健室 地域健康危機管理対策専門官 近藤 祐史先生】
- ◎ 【第8回】 個人の健康を守り、企業の成長を支える（2021年8月19日）【花王株式会社 全社産業医 加藤 杏奈先生】
- ◎ 【第7回】 ヘルスサービスリサーチで医療の質向上に貢献する（2021年8月19日）【国立国際医療研究センター研究所・糖尿病情報センター・医療政策研究室長 杉山 雄大先生】

# 社会医学系専門医制度

## 専門医・指導医の更新について (要点)



# 提出期限

---

更新書類の提出期限は11月30日に終了

「更新延長届」の提出期限は3月31日迄



# 社会医学系専門医・指導医の更新について

- ①社会医学系専門医協会の構成学会の学会員を継続
- ②社会医学系専門医協会の登録(年間登録料)を継続
- ③社会医学系活動を5年間継続(常勤・非常勤を問わない)
- ④社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目以上



## <社会医学系分野での活動実績>

- (1)教育・研究活動 (2)産業保健活動 (3)行政関連活動  
(4)医療管理関連活動 (5)災害時・健康危機管理対応  
(6)社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修  
及び制度発展に係る実績

# 社会医学系専門医・指導医の更新について

⑤更新単位(K10単位、G10単位)を受講証明書等で確認

＜K単位(講習の受講)＞は以下の必須単位を含む  
指導医講習会 2回以上の参加が必須  
必須 3単位「医療倫理」「感染対策」「医療安全」

＜G単位(学会・団体活動の実績等)＞

○協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須。

○うち、鍵となる学会の年次総会には2回以上(1回2単位)参加必須

○単位にはオプションいろいろあり。

# 結言

- コロナ禍そしてポストコロナ時代、
  - 超少子・超高齢の人口減少社会、
  - 社会保障とその財源・資源が重要となる時代、
  - 地球環境が重要となる時代、
- 公衆衛生学／社会医学は
  - 益々重要となっていくきます。
  - ぜひとも盛り上げていきましょう！

ご清聴

ありがとう



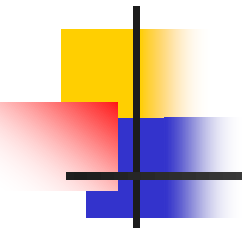
ございました

heqm-office @ umin.ac.jp

# 社会医学系専門医の更新 申請にあたっての留意点

前田光哉

一般社団法人社会医学系専門医協会  
業務執行理事 専門医・指導医認定委員長



---

利益相反(COI)開示

発表者名 前田 光哉

演題発表に関連し、

開示すべきCOI関係にある企業・団体などはありません。

## 〔趣旨〕

- 一般社団法人社会医学系専門医協会による社会医学系指導医・専門医が 2017年4月から認定され、**2021 年度中**に最初の更新の手続きが必要となっている。
- 新型コロナウイルスの発生により、社会医学系指導医・専門医の多数が業務多忙となり、必要な更新単位取得が困難になっていることが想定されるため、更新の延長を可能とするなど、**更新に関するきめ細かい手続き**などについて、認定更新にあたっての留意点を中心に説明する。

# 専門医・指導医・更新制度など

## ○指導医

- ・指導医研修の受講が必要（本日の指導医講習会です）

指導医要件 + 指導医研修 = 制度上の指導資格

担当指導医：専攻医の研修全体の指導医

要素指導医：副分野など特定要素の指導医

## ○更新制度

- ・専門医・指導医ともに5年間ごとに更新が必要

## ○その他

- ・1人の指導医が担当する専攻医は原則5名以内
- ・専攻医数は研修施設群全体で在籍する指導医数の3倍以内



# 専門医・指導医等の登録・認定料等

## ○専門医（経過措置）

- ・ 審査料 10,000円
- ・ 認定料 15,000円
- ・ 年間登録料（毎年） 5,000円

## ○指導医

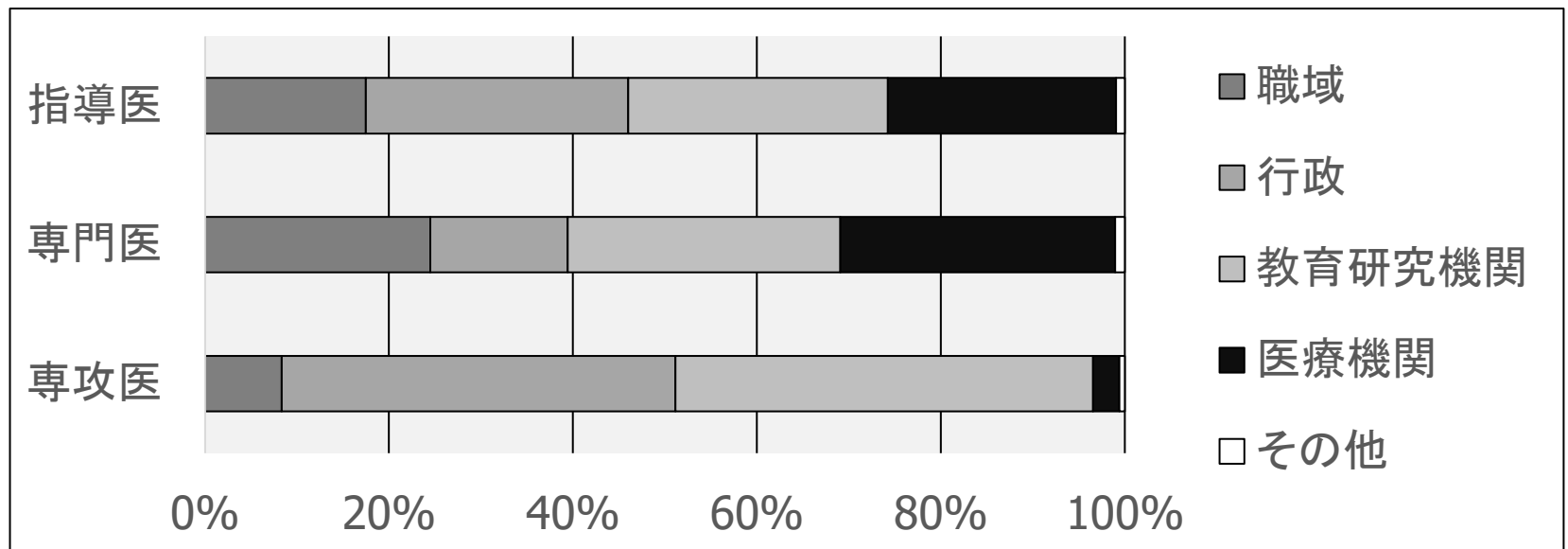
- ・ 審査料 10,000円
- ・ 認定料 15,000円
- ・ 年間登録料（毎年） 5,000円

## ○専攻医

- ・ 年間登録料（毎年） 5,000円
- ・ 受験料 20,000円

# 指導医、専門医、専攻医の登録状況について

- 2021年9月現在の登録数 3,645名  
(指導医2,837名、専門医385名、専攻医423名)



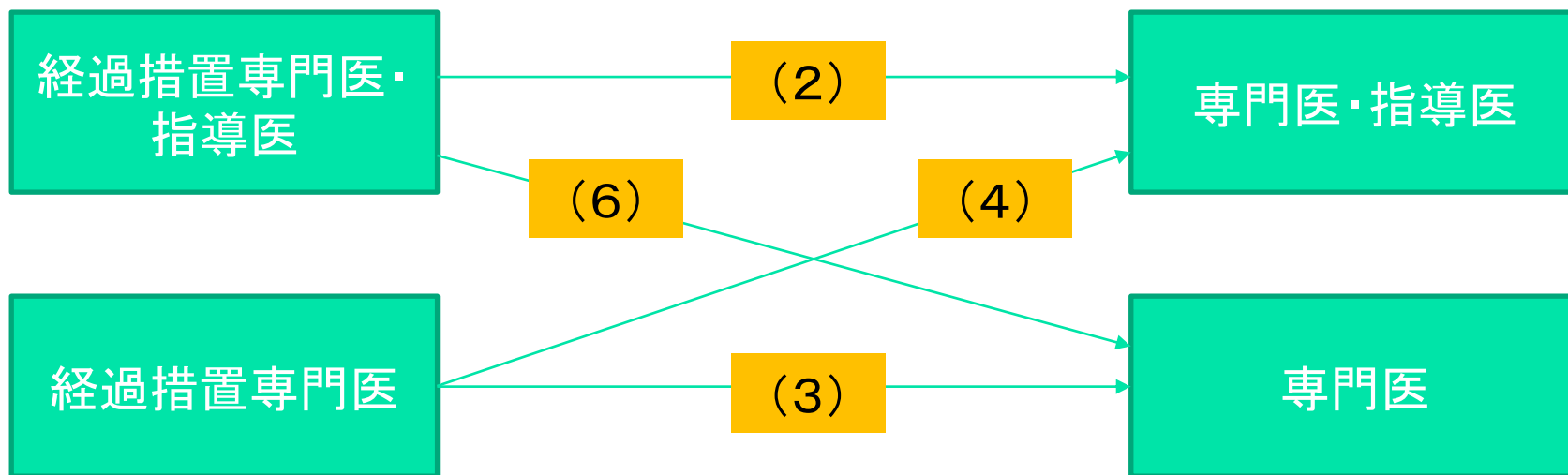
# 専門医・指導医の更新ルールについて

## ■ 基本的要件

- 5年間中断無く継続して、社会医学系の専門的な活動を行い、自らの能力・技術の研鑽及び社会医学系分野の発展への貢献に励んでいること。
- 認定期間の5年間、指導医の登録を継続し、構成学会の学会員を継続していること。
- 社会医学系領域の実務・実績をもって、専門医／指導医としてのコンピテンシーの維持・向上を示すこととし、5年目に以下の提出をもって審査を受けること。
  - (1) 申請書の提出
  - (2) 社会医学系分野での勤務実績の申告
  - (3) 社会医学系分野での活動実績の申告
  - (4) 社会医学系分野に関連する講習の受講
  - (5) 社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績等

# 2017年4月[社会医学系専門医制度開始時]に経過措置として専門医又は専門医・指導医を取得した方の更新手続き

- (1) 共通事項(経過措置専門医・指導医、経過措置専門医、専門医に共通)
- ①社会医学系専門医協会構成 8 学会のいずれかに加入し、学会員を継続
  - ②社会医学系専門医協会の年間登録料を5年間、中断なく納めている
  - ③社会医学系活動を5年間継続している(常勤・非常勤を問わない)
  - ④社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目で申告の記載がある
  - ⑤更新単位(K単位 10 単位、G単位 10 単位)を受講証明書等で確認
    - ・K単位 10 単位のうち、医療倫理・感染対策・医療安全は各 1 単位以上
    - ・G単位 10 単位のうち、構成学会の年次総会等への参加 3 回以上、かつ 鍵となる学会の年次総会への参加 2 回以上(単位は認定期間内の受講、参加が有効)



(2) 経過措置専門医・指導医の更新、専門医・指導医の更新(共通事項に加え)

- ① 構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に2回以上受講

(3) 経過措置専門医の更新(共通事項に加え)

- ① 基本プログラム(7科目×7時間)49時間を受講

(4) 経過措置専門医の更新時に指導医の申請(共通事項に加え)

- ① 基本プログラム(7科目×7時間)49時間を受講していること  
② 構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に2回以上受講  
③ 専門医と認定されてから、協会構成学会の年次総会での発表歴(口演で筆頭のみ)、ポスター発表(筆頭のみ)、座長、シンポジスト(発表者のみ)、教育講演の演者など、または論文掲載(筆頭のみ)

(5) 専門医の更新時に指導医の申請(共通事項に加え)

- ① 構成学会・団体主催の「指導医講習会」を認定期間内に2回以上受講  
② 専門医と認定されてから、協会構成学会の年次総会での発表歴(口演で筆頭のみ)、ポスター発表(筆頭のみ)、座長、シンポジスト(発表者のみ)、教育講演の演者など、または論文掲載(筆頭のみ) <学会誌の表紙と抄録等のコピーを提出>

(6) 経過措置専門医・指導医、専門医・指導医、専門医が専門医のみの更新

- (1) 共通事項のみ

# 更新手続き (2021年3月19日に協会ホームページに公開)

## 1. 更新申請に必要な書類

### (1) 専門医

- ① 更新申請書類(第1号様式): 専門医(指導医)認定更新申請書
- ② 更新申請書類(第2号様式): 勤務実績の自己申告
- ③ 更新申請書類(第3号様式): 社会医学系分野での活動実績の申告(5年間)
- ④ **【専門医用】更新申請書類(第4号・第5号様式)**
- ⑤ 講演会等受講証明書
  - a. 必須受講項目「医療倫理」[様式4-①]
  - b. 必須受講項目「感染対策」[様式4-②]
  - c. 必須受講項目「医療安全」[様式4-③]
  - d. 必須受講項目「指導医講習会」[様式4-④]
  - e. 選択受講項目[様式4-⑤]
- ⑥ 学会参加証明書類
  - a. 学会の年次総会等参加証明書[様式5-①]
  - b. 学会・団体活動等の実績証明書[様式5-②]
- ⑦ 審査料振込明細書コピー
- ⑧ 必修共通講習(Eラーニングシステム)受講レポート(共通講習をEラーニングシステムで受講した方に限る)

## (2) 指導医

- ① 更新申請書類(第1号様式): 専門医(指導医)認定更新申請書
- ② 更新申請書類(第2号様式): 勤務実績の自己申告
- ③ 更新申請書類(第3号様式): 社会医学系分野での活動実績の申告(5年間)
- ④ **【指導医用】更新申請書類(第4号・第5号様式)**
- ⑤ 講演会等受講証明書
  - a. 必須受講項目「医療倫理」[様式4-①]
  - b. 必須受講項目「感染対策」[様式4-②]
  - c. 必須受講項目「医療安全」[様式4-③]
  - d. 必須受講項目「指導医講習会」[様式4-④]
  - e. 選択受講項目[様式4-⑤]
- ⑥ 学会参加証明書類
  - a. 学会の年次総会等参加証明書[様式5-①]
  - b. 学会・団体活動等の実績証明書[様式5-②]
- ⑦ 審査料振込明細書コピー
- ⑧ 必修共通講習(Eラーニングシステム)受講レポート(共通講習をEラーニングシステムで受講した方に限る)

## 2. 更新の手続き

- (1) 申請書類(第1号～第3号様式)をWORDで作成の上、PDFに変換してください。
- (2) 申請書類(第4号、第5号様式)をExcelで作成の上、シートごとPDFに変換してください。
- (3) 学会発表[様式5-②]については、学会誌の表紙と抄録等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。
- (4) 論文発表[様式5-②]については、論文の抄録等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。
- (5) 役員や委員等[様式5-②]については、委嘱状や委員会名簿等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。
- (6) 共通講習をEラーニングシステムで受講した方は、必修共通講習(Eラーニングシステム)受講レポートをWORDで作成の上、PDFに変換してください。
- (7) (1)～(6)のファイルをパスワード保護した上で、社会医学系専門医協会事務局までメールで提出してください。(更新手続きの時期は下記のとおり)



(8) 講演会等受講証明書(様式4-①、様式4-②、様式4-③、様式4-④、様式4-⑤)、学会参加証明書類(様式5-①)及び審査料振込明細書コピーは、社会医学系専門医協会事務局に原則、郵送で提出してください。

**※書類到着有無につきましては、レターパック・簡易書留等ご自身で追跡確認のできる方法にてご自身でご確認をお願い致します。**

(9) 講演会等受講証明書については、コピー又は写メールを打ち出したものも可とします。

(10) 学会参加証明書類については、学会に参加したことを証する参加証明書、ネームプレート、参加証、領収書、学会参加登録済みメール等の書類とし、コピー又は写メールを打ち出したものも可とします。

(11) 提出いただいた書類は返却いたしません。一定期間経過後に社会医学系専門医協会事務局において処分いたします。

(12) 資格更新については、社会医学系専門医協会の年間登録料を5年間中断なく納めていることが要件となります。手続きの前に納入状況をご確認ください。

(13) 審査料及び振込口座は、下記のとおりです。

審査料

10,000円

金融機関:三井住友銀行 大塚支店(支店番号:227)

預金種類・口座番号:普通預金 2200431

振込口座

口座名義:一般社団法人 社会医学系専門医協会

口座名義カナ:イッパンシャダンホウジン シャカイイガクケイ  
センモンイキョウカイ

社会医学系専門医協会事務局

住所:〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4F

更新用専用メールアドレス : [jbphsm-koushin@asas-mail.jp](mailto:jbphsm-koushin@asas-mail.jp)

### 3. 更新手続きの時期

**【重要】更新書類の提出期限に関しては、下記認定番号ごとの提出時期を問わず一律最終締め切りの11月30日までに更新申請の関係書類、または更新延長届をお送りくだされば、受理することといたします。**

~~(1) 本年は、社会医学系専門医・指導医の更新者数が多いため、下表の~~

**期限内の提出に協力いただき、誠にありがとうございました。**

**更新書類の提出期限は、11月30日が締切でしたが、まだ受け付けております。**

**なるべく早めにご提出ください。**

#### 4. 申請時期以降の学会・講習会に「参加見込み」として申請書類(第4号または第5号様式)に記載された方へ

- (1) 参加見込みの学会・講習会に参加された場合は、講演会等受講証明書(様式4-①、様式4-②、様式4-③、様式4-④、様式4-⑤)又は学会参加証明書類(様式5-①)を参加後1週間以内に、社会医学系専門医協会事務局に原則、郵送で提出してください。
- (2) (1)の手続きをされない場合は、更新手続き未了として取り扱うことがあります。

**期限内の提出に協力いただき、誠にありがとうございました。**

**更新の延長届の受理は、11月30日が締切でしたが、まだ受け付けております。**

**なるべく早めにご提出ください。**

# 社会医学系専門医協会 専門医・指導医更新ロードマップ

2021年12月

2022年 1月

2022年 2月

業務執行理事会  
理事会

- 12/7,12/14
- ・スケジュール確認
- ・審査体制確認・精査

認定委員会

- 12/18
- ・更新受付状況報告、審査体制確認
- ・次回専門医試験
- ・特別指導医制度検討

事務局

- 12/20～
- ・協会HPにスケジュール、受付名簿等公開
- ・認定医への周知、確認作業(12月中)

- ・要件不足者を対象にした不足要件の通知
- ・未提出者へリマインド連絡(年明けから電話)
- ・認定番号の照会等問い合わせ対応

認定医

- ～12月中
- ・申請提出者、更新延長者:メール、郵送、延長届の受付について通知(メール)
- ・**未提出者:更新延長or辞退届 提出督促**(メール、封書・電話)⇒いずれかの届出を必ず行ってください
- ・審査料未入金者:振込の督促(メール)
- ・参加証の追加提出(対象者):随時(3月末迄)

# 社会医学系専門医協会 専門医・指導医更新ロードマップ

2022年 2月

2022年 3月

2022年 4月

業務執行理事会  
理事会

②2月中～下旬【業務執行理事会】  
更新申請含む、理事会議事の精査

④3月初～上旬【理事会】  
2021年度更新申請結果の承認(結果確定)

2022年度の更新申請  
<対象>  
指18-\*\*\*\*\*  
専18-\*\*\*\*\*  
更新延長届を出した  
指17-\*\*\*\*\*  
専17-\*\*\*\*\*

認定委員会

①2月初～上旬  
・集計結果報告  
・疑義のある申請者の情報共有  
・次回専門医試験検討

③2月下旬  
・審査結果(最終)報告  
・2022年度更新申請の検討  
・次回専門医試験検討

事務局

・延長届、参加証等の追加提出受付  
・更新に関する問い合わせ対応  
・2022年度更新申請の周知準備

⑤3月理事会後  
・認定者への結果通知、登録料納入依頼  
⇒確認次第認定証発送  
・2022年度更新申請受付の周知(HP等)

認定医

・更新申請、更新延長届の未提出者:  
更新延長または辞退届 提出(3/31迄にご提出ください)  
・審査料未入金者:審査料の入金  
・受講・学会参加見込のある方:参加証・受講証の追加提出

・認定登録料納入  
・認定証発送先登録

更新認定

2022. 4～  
2027. 3

## 専門医・指導医の更新審査の予定について (2017年認定の専門医および指導医の皆様)

2017年度に社会医学系専門医および指導医に認定された皆様

本年3月19日に当協会ホームページに「専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）」を掲載して以降、ニュースレター、メール配信、構成学会・団体主催の指導医講習会等で社会医学系専門医および指導医の更新手続きについてご案内しておりました。

専門医、指導医の更新申請書類、または更新延長届のご提出につきましてご多忙の折ご提出いただき誠にありがとうございました。今回の更新の対象者**2,400名**のうち、11月末の期限までに、**1,156名**の方が更新申請を、**445名**の方が更新延長の手続きをされております。

頂きました更新申請書類につきまして事務局において精査の上、専門医・指導医認定委員会で更新申請の審査を行い、理事会の承認を得た上で、**更新が認定された方には2022年3月～4月頃に結果を通知**（メールまたは郵送）する予定です。

結果通知の際、**資格認定料（15,000円）の納入および社会医学系専門医・指導医認定証の送付先の登録**を、あわせて依頼いたします。

資格認定料のご入金・送付先住所の確認ができた方から随時認定証を郵送いたします。

更新申請書の内容について事務局または専門医・指導医認定委員会より問い合わせることがございます。予めご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。



## 社会医学系専門医協会ホームページの記事【P】

更新延長届をご提出いただきました先生方は2022年度の更新申請に向け、学会の参加や講習会の受講など、引き続きご準備のほどお願い申し上げます。

2022年度の更新手続きにつきましては、2022年3月を目途にメール配信・ホームページ等で周知する予定です。

2021年11月末の提出期限までに更新の申請又は延長の書類提出が確認できなかった専門医、指導医の方が**799名**いらっしゃいます。

所要の手続きが必要なことを知らないまま、専門医、指導医の資格が失効することはできるだけ避けたいと思いますので、ご多忙の折恐縮ですが、「更新延長届」をご作成の上、**12月31日【P】**までに事務局までご提出ください。

・ [更新延長届.docx](#)

なお、退職・ご異動等のご事情で更新申請をされない場合には「登録辞退届」をご作成の上、事務局までご提出ください。

- ・ [登録辞退届.docx](#)

上記何れかの書類作成・ご提出を必ずお願い申し上げます。

メールでご提出いただいた更新申請に係るファイルに対する返信、郵送提出分の到着確認依頼に対する返信につきましては、確認ができ次第、事務局より返信をいたします。ご心配・ご迷惑をおかけいたしますが、ご容赦のほどお願い申し上げます。

現在までに、事務局にメールまたは郵送による更新申請をされた方、又は審査料の振込を事務局で確認できた方々の認定番号は、以下のとおりです。

2021年12月●●日現在  
(毎日、17時に更新)

指17-●●●●●●●● 指17-●●●●●●●● 指17-●●●●●●●●  
指17-●●●●●●●● 指17-●●●●●●●● 指17-●●●●●●●●

↑上記内容をPDF化したリストの掲載

(ご提案事項)：更新時の差分を明確化するために、新規判明分は別のPDFを掲載

- ・更新申請受領者 認定番号一覧 (2021年12月20日時点) .pdf
- ・更新申請受領者 認定番号一覧 (2021年12月21日時点) .pdf

## 社会医学系専門医協会ホームページの記事【P】

もし、ご自身の認定年度、認定番号が不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

社会医学系専門医協会事務局（平日9:30～17:30）

メールアドレス：[jbphsm@asas-mail.jp](mailto:jbphsm@asas-mail.jp)

電話番号：03-6821-7388

（社会医学系専門医・指導医の認定証がございましたら、お手元にご用意の上ご連絡ください。）

<年末年始休業期間> 12月28日～1月5日

2022年1月6日（木）より平常営業いたします。

**この後のスライドは、  
参考資料です。**

**お時間のある時に、  
ご覧ください。**

# 更新対象者数

学会名	指導医・専門医	専門医	合計
日本衛生学会	79	4	83
日本医療情報学会	76	8	84
日本産業衛生学会	672	66	738
日本疫学会	114	11	125
日本公衆衛生学会	877	27	904
日本災害医学会	316	55	371
日本医療・病院管理学会	79	9	88
日本職業・災害医学会	0	0	0
合計	2,213	180	2,393

- 専門医・指導医の認定番号は、下6桁が「17\*\*\*\*」で、「170001」から「172793」まで出され、登録辞退者を除くと2,567名登録されている。
- うち、2017年度に登録され、2021年度中の更新の対象となる「17-17\*\*\*\*」の指導医は2,216名、「17-17\*\*\*\*」の専門医は178名。また、認定番号は各プログラムの専攻医にも付与しているため「17-17\*\*\*\*」の専攻医は50名。
- なお、2018年度に経過措置申請で専門医から指導医になった「18-17\*\*\*\*」の指導医は27名(認定期間2018/4/1～2023/3/31)
- 2019年度に経過措置申請で専門医から指導医になった「19-17\*\*\*\*」の指導医は23名(認定期間2019/4/1～2024/3/31)
- 2020年度に経過措置申請で専門医から指導医になった「20-17\*\*\*\*」の指導医は35名(認定期間2020/4/1～2025/3/31)

## (1)申請書の提出

- 認定の更新のために申請書を提出
- 第1号様式に従い、「社会医学系専門医・指導医認定更新申請書」を記載

様式は、下記ホームページに掲載

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

## 社会医学系専門医（指導医）認定更新申請書

20 年 月 日

一般社団法人社会医学系専門医協会 御中

フリガナ		区分（#）	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> 専門医及び指導医
氏名		生年月日	年 月 日
登録番号	第 号	初回認定日	年 月 日
現在の認定期間	(西暦) 年 月 日 ~		年 月 日
鍵とする学会	学会	会員番号 (歴)	( ) 年
主たる所属 (ひとつのみ)	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 職域 <input type="checkbox"/> 教育研究機関 <input type="checkbox"/> 医療機関 (大学病院を除く) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
勤務先名	(都道府県名)		
送付連絡先住所	〒 -		
<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅	TEL	FAX	
E-mail アドレス			
更新延長届又は 活動休止の方	更新延長期間	年 月 ~	年 月
	活動休止期間	年 月 ~	年 月
◎社会医学系分野での活動実績<以下の(1)~(6)のうち、2項目以上が必要です>			
(1) 教育・研究活動	有 ・ 無	(4) 医療管理関連活動	有 ・ 無
(2) 産業保健活動	有 ・ 無	(5) 災害時・健康危機管理対応	有 ・ 無
		(6) 社会貢献系専門医対応	

過去5年間の 講習会受講実績 (第4号①、②様式) K単位：10単位以上	必須受講項目受講実績 共通講習 ( ) 単位/3単位 <医療倫理・感染対策・医療安全> ◎指導医講習会 ( ) 単位/2単位 ◎指導医の更新と申請に必須です	選択受講項目受講実績 ( ) 単位/5単位以上 *基本プログラム7科目×7時間 ( ) *経過措置専門医の更新に必須です
過去5年間の 学会等参加実績 (第5号様式) G単位：10単位以上	学会等参加実績 (必須) 構成学会の年次総会等への参加3回以上 (うち、鍵となる学会の年次総会への参加2回以上) ( ) / 5単位	学会・団体活動の実績 ( ) 単位/5単位以上

医への申請の方 または論文掲載 (有・無) <学会誌の表紙と抄録等のコピーを提出>  
専門医に認定されてからの期間内で、協会構成学会での筆頭の発表に限る

# 専門医から専門医・指導医の申請の場合は両方をチェックしてください。

WORDで作成の上、PDF  
に変換してください。

この部分を重点的に  
チェックしています。



## (2)社会医学系分野での勤務実績の申告

- 5年間継続して社会医学系の活動を行っていることを示す基礎資料
- 申告が実態と一致しているか否かについては勤務実態を検証することがあるので、正確に記載すること

## 勤務実績の自己申告

氏名 \_\_\_\_\_

申告日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

### 勤務実態

勤務形態については、直近1年間の実態を、1週間当たりの関与時間で記載ください。

なお、申告が実態と一致しているか否かについて、勤務実態を検証することがありますのでご注意ください。

#### ・勤務形態

a. 常勤職員として勤務している (はい、いいえ)  
( ) 時間/週 勤務先 ( )

b. 非常勤職員として勤務している (複数ある場合はすべて記載)  
( ) 時間/週 勤務先 ( )  
( ) 時間/週 勤務先 ( )  
( ) 時間/週 勤務先 ( )

・その他  
( ) 時間/週 勤務先 ( )

### 前回認定後から今回の更新申請時までの職歴等

期	間	勤	務	先	職	名
自	年	月	日			
至	年	月	日			
自	年	月	日			
至	年	月	日			
自	年	月	日			
至	年	月	日			
自	年	月	日			
至	年	月	日			

※大学院、留学の場合は勤務先欄にその旨を記載してください。

※教育施設に非常勤で所属の場合は、主たる職歴に並列して記載してください

第2号様式に従い、「勤務実績の自己申告」を記載

(様式)

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

WORDで作成の上、PDFに変換してください。

## (3)社会医学系分野での活動実績 その1

- 社会医学系活動を認定期間に継続することが更新の前提
- 6項目のうち、少なくとも2項目での5年間の継続的な活動が必須(別途規則に沿って病欠、産休などの例外は認める)
  - (1) 教育・研究活動
  - (2) 産業保健活動
  - (3) 行政関連活動
  - (4) 医療管理関連活動
  - (5) 災害時・健康危機管理対応
  - (6) 社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績

## (3)社会医学系分野での活動実績 その2

### (1)教育・研究活動

#### (大学等での教育活動)

大学や専門学校等での人材育成や講義

担当授業科目名や授業時間

市民公開講座や各種の研修会・学会・研究会等の教育講演等の講師歴など

#### (研究活動)

研究テーマ、研究報告書の概要、研究資金獲得状況など

### (2)産業保健活動

担当事業所名、作業環境管理・作業管理・健康管理、労働衛生教育・統括管理の実績など

### (3)行政関連活動

担当行政分野名、行政機関主催の会議やイベント出席、行政機関設置の委員会や検討会等での委員歴など

## (3)社会医学系分野での活動実績 その3

### (4)医療管理関連活動

医療管理・病院管理、医療情報システム開発や運用管理、医療安全管理に係る実績など

### (5)災害時・健康危機管理対応

災害被災地での活動内容、防災訓練への参加、感染症のアウトブレイクや食中毒への対応など

### (6)社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修 及び制度発展に係る実績

#### (専攻医の研修への参画)

専攻医の担当指導医の実績、専門研修プログラムの連携施設・協力施設での研修協力、専門研修プログラム管理委員会の委員など

#### (社会医学系専門医協会活動への参画)

協会主催講習会(基本プログラム、指導医講習会等)の講師、協会設置の委員会委員としての活動、理事としての活動など

社会医学系分野での活動実績の申告（5年間）

専門医指導医登録番号	第	号	氏名	
(1) 教育・研究活動			有	・ 無
(具体的な活動内容)				
(2) 産業保健活動			有	・ 無
(具体的な活動内容)				
(3) 行政関連活動			有	・ 無
(具体的な活動内容)				
(4) 医療管理関連活動			有	・ 無
(具体的な活動内容)				
(5) 災害時・健康危機管理対応			有	・ 無
(具体的な活動内容)				
(6) 社会医学系専門医制度における 専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績			有	・ 無
(具体的な活動内容)				

具体的な活動内容については、100字以上記入のこと、全体で1ページに収めること  
6項目のうち2項目以上の記入が必要です。

第3号様式に沿って、5年間の期間中における社会医学系分野での(1)~(6)の活動の有無とその概要を記載

(様式)

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

WORDで作成の上、PDFに変換してください。

## (4)社会医学系分野に関連する講習の受講

- 1コマ(約1~2時間)1受講を1単位(クレジット)として、下記の必須受講項目及び選択受講項目と合わせ、5年間で10単位以上の取得を必須とする(K単位) **Q&Aを参照**

### (1)必須受講項目

(倫理・安全等)

**「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は受講が必須**

※臨床系専門医制度で「共通講習」として位置づけられているものでも可。  
受講においてはeラーニングや施設内講習なども認める。

(指導医講習会)

**指導医の更新においては、協会または構成学会・団体が主催する「指導医講習会」の2回以上の受講が必須** (毎年1回の受講を推奨)

※指導医講習会に専門医が参加した際には、選択受講科目としてカウント

### (2)選択受講項目

協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講

指導医登録番号 指●● - ●●●●●●  
 氏名

必要単位数 **10単位** 以上  
 あなたの単位の合計 (A+B) **0 単位**  
 (①:必須受講項目及び②:選択受講項目あわせて)

# 「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は5年間に受講を必修とする。  
 # 構成学会・団体が主催「指導医講習会」の5年間で2回以上の受講を必修とする。

区分	受講した講習会名	開催日*1 20××/01/01	単位数
「医療倫理」			
「感染対策」			
「医療安全」			
指導医講習会 (2回以上の受講)			
計			0 …… A

<②:選択受講項目>

# 選択受講項目は、協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講とする。

学会・団体名	受講した研修会、講習会、セミナーなど	開催日*1 20××/01/01	単位数
計			0 …… B

\*1\_E-ラーニングでの受講の場合は、「E-ラーニング」と記載

第4号様式に沿って、5年間の期間中における必須受講項目と選択受講項目の講習会名、開催日、単位数を記載  
 (様式)  
<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

申請時期以降のK単位の申請につきましては、「開催日」欄に「参加見込み」と記載してください。

Excelで作成の上、シートごとPDFに変換してください。



様式4-① (医療倫理)

講演会等受講証明書  
必須受講項目「医療倫理」

#「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は5年間に受講を必修とする。

※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。  
 ※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんので留意願います。  
 ※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

様式4-③ (医療安全)

講演会等受講証明書  
必須受講項目「医療安全」

#「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は5年間に受講を必修とする。

※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。  
 ※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんので留意願います。  
 ※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

様式4-② (感染対策)

講演会等受講証明書  
必須受講項目「感染対策」

#「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の3項目は5年間に受講を必修とする。

※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。  
 ※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんので留意願います。  
 ※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

講演会等受講証明書については、  
 コピー又は写メールを打ち出したものも可とします。

必修共通講習（Eラーニングシステム）受講レポート

氏名（ふりがな）：	
該当する区分にチェック（ <input checked="" type="checkbox"/> ）をつけてください。 <input type="checkbox"/> 専攻医 <input type="checkbox"/> 経過措置専門医申請者 <input type="checkbox"/> 経過措置指導医申請者 <input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> 指導医	登録番号（※）
レポート提出日： 年 月 日	視聴期間（ 年 月 日～ 年 月 日）
科目名（本レポートで記入する科目名を選び、チェック（ <input checked="" type="checkbox"/> ）をつけてください。） <input type="checkbox"/> 1_倫理 <input type="checkbox"/> 2_医療安全 <input type="checkbox"/> 3_感染対策	
①（ <u>タイトル</u> ） 視聴開始日時（ 年 月 日 時:分 頃）	
②（ <u>タイトル</u> ） 視聴開始日時（ 年 月 日 時:分 頃）	
③（ <u>タイトル</u> ） 視聴開始日時（ 年 月 日 時:分 頃）	
専攻医、経過措置の専門医・指導医申請者の場合、指導医がレポート内容を確認してください。	
専攻医の場合、所属するプログラム：	
指導医の氏名：	指導医の登録番号：

※次ページの「記入上の注意」をよく読んでから記入・提出をしてください。

Eラーニングシステムで受講した方は、必修共通講習（Eラーニングシステム）受講レポートをWORDで作成の上、PDFに変換してください。

様式4-④ (指導医講習会)

講演会等受講証明書  
必須受講項目「指導医講習会」

# 構成学会・団体が主催「指導医講習会」の5年間で2回以上の受講を必須とする。

---

- ※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。
- ※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんのでご注意ください。
- ※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

様式4-⑤ 選択受講項目【K】

講演会等受講証明書  
選択受講項目

# 選択受講項目は、協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講とする。

---

- ※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。
- ※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんのでご注意ください。
- ※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

講演会等受講証明書については、  
コピー又は写メールを打ち出したものも可とします。

## (5)社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績等

- 社会医学系分野における能動的な貢献を評価するために学会等への参加や発表などを必要とし、次スライドの基準をもとに5年間で10単位以上の取得を必須とする(G単位)  
※講習の受講(10単位)とは別に取得しなければいけないことに留意

### 【留意事項】

- 学会等への参加回数については、以下に留意すること
  - 協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須
  - うち、鍵となる協会構成学会の年次総会には2回以上の参加が必須
- 学会総会等の受講については、証明書(コピー可)を第5号様式に貼付して提出する
- 学会発表や論文などについては、申請書とともに、抄録や論文等のコピーの添付が望ましい。
- 役員や委員等については、委嘱状や委員会名簿などのコピーの添付が望ましい。

# 学会・団体活動等の実績の単位(クレジット)

学会・団体活動等の内容	付与される単位
鍵となる協会の構成学会の年次総会への参加	2単位／回
協会の構成団体の研究協議会等への参加	1単位／回
鍵でない協会の構成学会の年次総会への参加	1単位／回
協会の構成学会の論文筆頭著者	3単位／件
協会の構成学会の論文共同著者	1単位／件
協会の構成学会の年次総会特別講演・教育講演等	1単位／回
協会の構成学会の年次総会シンポジスト・座長	1単位／回
協会の構成学会の年次総会一般演題筆頭演者	1単位／回
協会の構成学会の年次総会一般演題共同演者	0.5単位／回
協会の構成学会や団体の役員、委員会委員等	1単位／年
行政機関設置の審議会、検討会等の委員等	2単位／年
行政機関主催の会議等への、説明担当等の役割を有する参加	1単位／回
社会医学系の論文筆頭著者	1単位／件
社会医学系の論文共同著者	0.5単位／件

# 学会・団体活動等の実績の単位(クレジット)

## 追加項目(別表として公表)

学会・団体活動等の内容	付与される単位
協会の構成学会の地方会への参加 (日本産業衛生学会地方会、日本医療情報学会支部会)	0.5単位/回
協会の構成団体の研究協議会地方会への参加 (地方衛生研究所全国協議会地方会)	0.5単位/回

協会構成学会・団体で更新単位を指定する講習会等については、社会医学系専門医協会HPに順次掲載されます。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

学会・団体活動の実績（指導医）

必要単位数	10単位 以上	あなたの単位の合計 (C+D)	0 単位
(①必須受講項目及び②選択受講項目あわせて)			

# 協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に3回以上参加する  
 # そのうち、縦となる協会構成学会の年次総会には2回以上の参加  
 # 縦となる学会の年次総会への参加は1回につき2単位、横でない学会への参加は1回につき1単位

学会名	参加した学会等	開催日*1 20××/01/01	単位数
計			0

<②選択>

# 学会・団体活動等の実績の単位

学会・団体名	学会・団体活動等の実績	開催日*1 20××/01/01	単位数
計			0

\*1\_E-ラーニングでの受講の場合は、「E-ラーニング」と記載

第5号様式に沿って、5年間の期間中における参加学会名、活動実績、開催日、単位数を記載  
 (様式)  
<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

申請時期以降の学会・講習会のG単位の申請につきましては、「開催日」欄に「参加見込み」と記載してください。

Excelで作成の上、シートごとPDFに変換してください。

様式 5 - ① (学会等への参加)

学会の年次総会等参加証明書  
(必須)

# 協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に3回以上参加する  
そのうち、鍵となる協会構成学会の年次総会には2回以上の参加が必要

※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。  
※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんのでご留意願います。  
※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

学会参加証明書類については、

- ・学会に参加したことを証する参加証明書
- ・ネームプレート
- ・参加証
- ・領収書
- ・学会参加登録済みメール等の書類とし、コピー又は写メールを打ち出したものも可とします。



様式5-② (学会・団体活動等の実績)

学会・団体活動等の実績証明書  
(選択)

--


※ 証明書または参加証のコピーを貼付してください。  
※ 提出された受講証・証明書等については、返却出来ませんのでご留意願います。  
※ この様式は適宜コピーし、ご使用ください。

指導医登録番号	指●● - ●●●●●●
氏名	

- 学会発表については、学会誌の表紙と抄録等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。
- 論文発表については、論文の抄録等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。
- 役員や委員等については、委嘱状や委員会名簿等をPDFまたはJPEGで読み取ってください。

提出いただいた書類は返却いたしません。

一定期間経過後に社会医学系専門医協会事務局において処分いたします。



# 今後のタイムスケジュール

2021年11月～2022年2月 審査

2022年 3月 社会医学系専門医協会理事会において認定

**最新情報**は社会医学系専門医協会HPで

最新情報はWebで 「社会医学系専門医」で検索  
または <http://shakai-senmon-i.umin.jp/>

お問い合わせはE-mailで

[senmonshakaii-office@umin.ac.jp](mailto:senmonshakaii-office@umin.ac.jp) (代表)

[ibpasm@asas-mail.jp](mailto:ibpasm@asas-mail.jp) (事務局)

# 更新ルールQ&A (<http://shakai-senmon-i.umin.jp/QA/>)

## 1.社会医学系分野に関する講習等について

Q1\_\_社会医学系専門医・指導医の更新についての基本的な考え方について教えてください。

A1\_\_ 専門医・指導医の更新にあたっては、資格取得あるいは更新後の5年間に中断なく継続して社会医学系の専門的な活動を行い、自らの能力と技術の研鑽および社会医学系分野の発展への貢献に励んでいることが基本的な要件となります。

Q2\_\_社会医学系専門医・指導医の更新に必要な具体的な要件について教えてください。

A2\_\_ 更新にあたっては以下の4つの項目が必要です。

- 1) 社会医学系分野での勤務実績の申告
- 2) 社会医学系分野での活動実績の申告
- 3) 社会医学系分野に関連する講習の受講(単位制)
- 4) 社会医学系分野に関連する学会・団体活動の実績などの証明

Q3\_\_社会医学系専門医・指導医の更新に必要な社会医学系分野での勤務実績の申告について、具体的に教えて下さい。

A3\_\_勤務実績の申告については、第2号様式に勤務実績を簡潔にもれなく記載するようにしてください。

Q4\_\_社会医学系専門医・指導医の更新に必要な社会医学系分野での活動実績の申告について、具体的に教えて下さい。

A4\_\_活動実績には、以下の6項目があります。更新にはこれらの項目について5年間で6項目の活動のうち、2項目以上での活動実績を必須としています。

- 1) 教育・研究活動
- 2) 産業保健活動
- 3) 行政関連活動
- 4) 医療管理関連活動
- 5) 災害時・健康危機管理対応
- 6) 社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修および制度発展に係る実績

以上の項目について5年間の期間中の実績を第3号様式に沿って記載してくださいなお、具体的な内容については後述のQ23~Q28をご覧ください。

Q5\_\_社会医学系専門医・指導医の更新に必要な社会医学系分野に関連する単位制について、具体的に教えて下さい。

A5\_\_更新に必要な単位は、講習会を受講する講習会単位(K単位)と、学会等への参加など社会医学系分野に関連する学会・団体活動に関する単位(G単位)とがあり、資格取得後あるいは更新後の5年間にそれぞれ10単位ずつ取得することが更新に必須です。

Q6\_\_社会医学系専門医・指導医の更新に必要な社会医学系分野に関連する講習の受講(K単位)について、具体的に教えて下さい。

A6\_\_講習の受講については、社会医学系分野に関する最新の知識や技術等の取得を目指し、継続的に能力の向上を図ることを目的とするもので、講習会等の1受講を1単位(クレジット)として、K単位とし、(1)必須受講項目及び(2)選択受講項目と合わせ、5年間で10単位以上の取得が必須です。

Q7\_\_社会医学系分野に関連する講習の受講(K単位)についてですが、具体的にどの研修会が選択受講項目の対象となるかわかりません。

A7\_\_社会医学系分野に関連する講習会の受講(K単位:1コマ1単位)の単位数については、1コマ1時間~2時間で1単位とします。

各学会・団体に主催する講演会等の単位数については、各学会・団体に指定し、各学会・団体のHPで公表します。

K単位の認定条件ですが、社会医学系活動に密接に関係するテーマであること(専門研修プログラム整備基準における経験すべき課題の各論的な課題22項目に該当)が条件となっています。

今後、社会医学系専門医協会構成の学会・団体から、各学会・団体のHPに社会医学系専門医・指導医の更新で単位取得できる講演会リストと単位数を示される予定です。

社会医学系専門医協会ホームページにおいても各学会・団体のホームページとリンクを張り、情報提供してまいります。

※日本医師会認定産業医の生涯研修の認定単位については、有効期間内の取得単位を上限3単位までK単位として認めます。ただし、K単位との同時申請は認められません。(産業医学研修手帳の該当取得シール添付ページと最後のページに単位取得年月日を記入しコピーを第5号様式に貼付して、提出してください。)

※日本公衆衛生学会での認定専門医研修会及び認定専門医地方公衆衛生学会については、K単位とします。

Q8\_\_K単位のうち、(1)の必須受講項目である「医療倫理」「感染対策」「医療安全」は、構成学会のいずれの年次総会などでも必ず開催されるのでしょうか。

A8\_\_学会総会時にそれぞれの項目に関する講習会を開催するかどうかは、各学会のプログラムによります。開催予定予定の学会もありますが、学会によっては、組まれない場合もあり得ます。

Q9\_\_K単位のうち、(1)の必須受講項目である「医療倫理」「感染対策」「医療安全」は臨床系専門医制度で「共通講習」として位置付けられているものでも可」とありますが、日本高血圧学会等、構成学会以外の医療倫理等の受講でも可能でしょうか。

A9\_\_協会構成学会以外の主催のものでも、一般社団法人日本専門医機構が認定している共通講習は、本協会においても同等のものとして取り扱い、K単位としてカウントされます。受講においてはeラーニングや大学などでの施設内講習なども認めます。更新申請の際には、受講証明書または受講を確認できるもの(参加証明書の画面のコピーなど)が必要です。

## Q10\_\_G単位について教えてください。

A10\_\_社会医学系分野に関連する学会年次総会や段位研究協議会への参加の単位をG単位と呼びます。更新のためには、5年間で10単位のG単位が必要です。更新には、5年間で、協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会などに3回以上参加することが必要で、そのうち鍵となる協会構成学会の年次総会には2回以上参加することとなっています。G単位の詳細については(別表①)を参照してください。G単位の単位証明は、学会総会等の受講証明書(コピー可)を第5号様式に貼付して、提出してください。

※学会発表や論文などについては、申請書とともに、抄録や論文等のコピーの添付してください。

※社会医学系の論文には、厚生労働科学研究報告書や地域保健総合推進事業研究報告書費も含まれます。

※役員や委員等については、委嘱状や委員会名簿などのコピーの添付してください。

※G単位となる学術総会時に同時開催されるシンポジウム等については、K単位として同時取得可能です。ただし、同時取得のK単位は、全国規模の学術総会では、共通講習は上限3単位まで、選択受講項目は上限3単位まで、指導医講習会は上限1単位までとなっています。地方会等では、共通講習、選択受講項目、指導医講習会の項目ごとに上限1単位までとなっています。

なお、学術総会時に同時開催されるシンポジウム等については、上記の同時取得できるK単位の数を超えて企画することは可能です。



Q10a\_\_ 研修プログラム管理委員会はG単位 2 単位となるか？

A10a\_\_ G単位の対象ではなく、更新ルールでの「社会医学系分野での活動実績」の(6)社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び志度発展に係る実績に「専門研修プログラム管理委員会の委員」が明記されています。

Q10b\_\_ 更新における鍵となる学会の考え方について教えてください。

A10b\_\_ 更新申請時の学会でG単位数をカウントします。

Q11\_\_ オンラインの講習会(指導医講習会など)で、録画した講師のプレゼンを受講した場合の取扱いはどうなりますか。質疑応答をすることが必修になりますか。

A11\_\_ 講習会の主催者が録画であっても、ライブ配信と同様に認める場合があります。主催者にご確認ください。

Q12\_\_ 共通講習会の単位について質問です。たとえば、学会総会時に開催される医療安全の共通講習会を5年で3回受講した場合、1回を共通講習会としてのK単位、残り2回を選択科目としてのK単位としてカウントすることは可能でしょうか。

A12\_\_ 選択科目としてのK単位としてカウントすることは可能です

Q13\_\_日本産業衛生学会の総会と全国協議会のどちらも参加した場合の解釈ですが、1年で計3単位G単位と換算することは可能なのではないのでしょうか。例えば、1年間に産業衛生学会、公衆衛生学会、衛生学会、疫学会、医療情報学会の全ての総会に参加すれば、最低でもG単位5単位は取れるのと同様の解釈だと思いますが、いかがでしょうか。

A13\_\_その解釈で結構です。日本産業衛生学会の総会と全国協議会のどちらも参加した場合は、1年で計3単位のG単位と換算できます。

Q14\_\_指導医が日本産業衛生学会全国協議会において運営実行委員と座長を務める場合、指導医更新単位に加えられるものでしょうか？

A14\_\_「鍵となる協会の構成学会の年次総会への参加」によるG-2単位、運営実行委員なので「協会の構成学会や団体の役員、委員会委員等」のG-1単位、座長なので「協会の構成学会の年次総会シンポジスト・座長」のG-1単位の合計G単位4単位が取得できます。

Q15\_\_先日公衆衛生学会を退会しました。現在の業務内容のこともあり、今後学会活動を行う予定がありません。私の指導医の資格は学会の退会をもって即時喪失されますでしょうか。それとも、認定期限まで継続されるのでしょうか。

A15\_\_指導医の資格は認定期間いっぱいまで認定されます。

Q16\_\_臨床系専門医制度の更新と、社会医学系専門医の更新の際に同時申請は可能ですか。「医療倫理」など、臨床系専門医制度で「共通講習」として位置づけられているものは、ひとつの講習を受講したら、臨床専門医制度と社会医学系専門医制度の両方に同時申請できるのでしょうか？

A16\_\_臨床専門医制度と社会医学系専門医制度K単位との**同時申請は認められません**。受講証明書の提出は原本の郵送提出を原則といたします。ただし、先に臨床系専門医制度の更新時に原本を提出されている場合、または今後臨床系専門医制度の更新時に原本を提出する予定がある場合はコピーでも受け付けますので、その旨お申し出ください。

## 2.基本プログラムについて

Q17\_\_ 認定証に専門医・指導医と記載されていますが、この場合、次回更新までの間に基本プログラム（49 単位）を受講する必要があるのでしょうか。

A17\_\_ 経過措置指導医の場合は、更新に必須ではありません。

Q18\_\_ 学会総会時に開催される社会医学系専門医制度基本プログラムは社会医学系専門医協会の指導医の更新項目の選択受講項目のK単位に当たのでしょうか。

A18\_\_ 基本プログラム受講の単位は、更新にあたっての選択受講項目のK単位として認められます。

Q19\_ 大学院などの教育課程で基本プログラム履修とみなされるものはありますか？

A19\_ 2018 年 8 月現在で基本プログラムを履修したとみなされる大学院プログラム等は以下の通りです。

- ・専門職大学院(東京大学・京都大学・九州大学)
- ・国立保健医療科学院分割前期(2012 年度～)、産業医科大学産業医学基本講座(2017 年度～)

これらの教育課程の修了認定をもって基本プログラムを履修したものとして認められます。

Q20\_\_学会総会時に開催される社会医学系専門医制度基本プログラムは、講習会(K単位)として何単位に当たるでしょうか。

A20\_\_全てを受講完了すれば、7単位としてカウントされます。

### 3.指導医講習会について

Q21\_\_学会総会時に開催される指導医講習会は、講習会(K単位)として何単位に当たるでしょうか。

A21\_\_1単位の取得かつ、「指導医講習のうち5年の内、2回以上受講する必要があるもの」の1回にあたります。

### 4.構成学会の総会への参加について

Q22\_\_鍵となる協会の構成学会の年次総会への参加1回につき2単位とありますが、こちらは、学会期間中にこの学会に参加したらもらえる単位ですか。それとも、「総会」の時間に参加することで貰える単位でしょうか。(仕事の都合により、初日から参加できない場合など)

A22\_\_社会医学系分野に関連する学会年次総会や団体研究協議会への参加の単位をG単位と呼び、鍵となる協会の構成学会の年次総会への参加1回につき2単位となります。「総会」の時間に出席することは、必ずしも必須とはしておりません。ご指摘のとおり、学会期間中にこの学会に参加した場合に単位を取得できるものとしております。

## 5.社会医学系分野での活動実績について

Q23\_\_教育・研究活動は具体的にどのような活動が実績になるのか教えてください。

A23\_\_大学や大学院等での研究活動、医師会主催産業医講習会の講師等、公益社団法人主催の作業主任者技能講習での講師、社会医学系専門医協会加盟の学会での発表・講習会講師等、産業医による事業所等での衛生講話・講演が相当します。

Q24\_\_産業保健活動は具体的にどのような活動が実績になるのか教えてください。

A24\_\_事業所での産業医活動(職場巡視、安全衛生委員会参加、面談対応、ストレスチェック対応など)が相当します。

Q25\_\_行政関連活動は具体的にどのような活動が実績になるのか教えてください。

A25\_\_担当行政分野名、行政機関主催の会議やイベント出席、行政機関設置の委員会や検討会等での委員歴などが相当します。

Q26\_\_医療管理関連活動は具体的にどのような活動が実績になるのか教えてください。

A26\_\_医療管理・病院管理、医療情報システム開発や運用管理、医療安全管理に係る実績などが相当します。

Q27\_\_災害時・健康危機管理対応は具体的にどのような活動が実績になるのか教えてください。

A27\_\_災害被災地での活動内容、防災訓練への参加、感染症のアウトブレイクや食中毒への対応などが相当します。

Q28\_\_社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績にはどのような活動が該当するのか教えてください。

A28\_\_社会医学系専門医制度における指導実績や、社会医学系専門医協会の活動への参加(協会理事、協会各委員会の委員における活動、協会基本プログラムの講師、協会構成学会の学会運営委員など)が相当します。

## 6. 鍵となる構成学会について

Q29\_\_鍵となる構成学会について教えてください。

A29\_\_「鍵となる学会」とは、ご自身が積極的な活動をしたいと考える学会となります。鍵となる学会は、指導医申請時の学会とは限りません。

## 7.認定更新申請について

Q30\_\_更新認定申請に必要な様式の提供はいつ頃になりますか？

A30\_\_ホームページにて順次公開しています。

様式は、下記ホームページに掲載

<http://shakai-senmoni.umin.jp/news/2133/>



## 8.更新期間の延長等について

Q31\_\_更新期間の延長について教えてください。

A31\_\_海外留学、海外勤務など、特別な事由がある場合は、更新期間の延長の届出をしてください。更新期間の延長は1年単位で行ってください。上限は3年までです。

COVID19の影響により、社会医学系分野に関連する学会年次総会や団体の研究協議会(G単位)、社会医学系分野に関連する講習会(K単位)、指導医講習会が中止または延期となったり、業務が多忙となったために基本プログラム(7科目×7時間)49時間の受講(※)ができなくなったりして、5年間での更新が困難と想定される場合は、(2017年認定、2021年中の更新手続きをご案内している指導医・専門医の方は)2021年11月30日までに更新期間の延長の届出をしてください。

延長届を提出された方が更新の申請を行う際に、1年間の延長につき、更新申請時にお納めいただく審査料を2,000円増額します。

なお、第1期「2017年度～2021年度」を「2017年度～2022年度」に延長した専門医・指導医の第2期は「2023年度～2027年度」となります。

(続き)

更新延長の場合は、年間登録料はお支払いただきます。  
登録料は、4月～3月の年度での請求となりますので、早めに届出をお願いします。  
届出の様式は、以下のページをご参照ください。

専門医・指導医に関する各種届出様式を掲載します

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

※基本プログラムの受講は、取得時に受講していなかった経過措置専門医のみ必要となります。経過措置指導医、経過措置専門医だが取得時点ですでに受講していた方については必要ありません。

Q32\_\_専門医・指導医の活動の休止について教えてください。

A32\_\_育児休暇・介護休暇・病気休暇など、特別な事由がある場合は、活動休止の届出をしてください。活動休止は、1年単位で行ってください。上限は3年までです。

活動休止の場合は、年間登録料は免除となります。活動はカウントされず専門医・指導医のリストから一旦外れます。

登録料は、4月～3月の年度での請求となりますので、早めに届出をお願いします。届出の様式は、以下のページをご参照ください。

専門医・指導医に関する各種届出様式を掲載します

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

### 【更新手続きの時期について】

(Q1) 私は6月1日～7月31日書類提出の旨連絡を頂きました。鍵となる学会への参加、そしてK単位の講習会受講を考えておりますが、明確な開催情報がなく、受講見込すべきか、あるいは更新延長すべきか判断ができません。更新書類については期限を過ぎても受け付けて下さるのでしょうか？

### 【回答】

書類の提出時期は認定番号をもとご案内差し上げております。また、K単位が取得できる講習会につきましては、構成学会・団体から連絡があれば、協会ホームページに掲載しているところです。

更新申請の当面の期限は7月31日ですが、最終締め切りの11月30日までに更新申請の関係書類、または更新延長届をお送りくだされば、受理いたします。

(Q2) 更新が2022年3月なのに、更新の書類の締め切りが前年の7月とは早すぎませんか。

### 【回答】

更新書類の提出期限に関しては、受付・審査の体制の都合により、認定番号の順番ごとに更新時期を設定しました。

提出の締め切り期限については、3つめのグループの手続き時期が「2021年10月1日～11月30日」なので、もし7月末までの提出は難しいという場合は、11月30日までに提出してください。

## 【更新延長の申し出】

(Q3)更新延長届は7月31日までに提出しなければならないでしょうか？

## 【回答】

更新手続きの時期とは関係なく、一律11月30日迄にご提出ください。

(Q4)更新延長届の理由の記載欄について、どう書けばよいでしょうか？理由によっては更新延長届が却下されてしまうのではないかと不安です。

## 【回答】

内容については各認定医の先生方にお任せしております。

現在、「コロナ禍により資格維持の活動が困難の為」等の理由を書き添えていただくケースが多くみられます。

# 【第1号様式の選択項目の/5単位以上の表記について】

(Q5) 私はK単位を必修項目で7単位受講し、選択項目の3単位の計10単位で申請予定です。第1号様式を見ると選択項目が5単位受講する必要があるように記載されてますが、私は選択項目をあと2単位受ける必要があるのでしょうか？

## 【回答】

第1号様式はK単位、G単位ともに「必須項目を最小限の5単位受講した場合に、選択項目を5単位以上申請する必要がある」という意味合いで分母を「/5単位以上」としております。

必須項目の条件(K単位なら共通講習を各1回ずつと(指導医は)指導医講習会の受講2回以上、G単位なら学会参加の回数(鍵学会2回以上を含めて3回以上))を満たしていることをご確認の上、**必須項目+選択項目の合計が10単位以上**になるようご申請ください。

(第1号様式)  
社会医学系専門医(指導医)認定更新申請書  
20 年 月 日

一般社団法人社会医学系専門医協会 御中

フリガナ		区分( # )	<input type="checkbox"/> 専門医 <input type="checkbox"/> 専門医及び指導医
氏名		生年月日	年 月 日
登録番号	第 号	初回認定日	年 月 日
現在の認定期間	(西暦) 年 月 日 ~	年 月 日	
鍵とする学会	学会	会員番号(歴)	( ) 年
主たる所属(ひとつのみ)	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 職域 <input type="checkbox"/> 教育研究機関 <input type="checkbox"/> 医療機関(大学病院を除く) <input type="checkbox"/> その他( )		
勤務先名		(都道府県名)	
送付連絡先住所	〒 -		
<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅	TEL	FAX	
E-mail アドレス			
更新延長届又は活動休止の方	更新延長期間	年 月 ~ 年 月	
	活動休止期間	年 月 ~ 年 月	
◎社会医学系分野での活動実績<以下の(1)~(6)のうち、2項目以上が必要で>			
(1) 教育・研究活動	有・無	(4) 医療管理関連活動	有・無
(2) 産業保健活動	有・無	(5) 災害時・健康危機管理対応	有・無
(3) 行政関連活動	有・無	(6) 社会医学系専門医制度における専攻医の専門医	
過去5年間の講習会受講実績(第4号①、②様式) K単位: 10単位以上	必須受講項目受講実績 共通講習( )単位/3単位 <医療倫理・感染対策・医療安全> ◎指導医講習会( )単位/2単位 ◎指導医の更新と申請に必須です	選択受講項目受講実績 ( )単位/5単位以上 *基本プログラム7科目×7時間 ( ) *経過措置専門医の更新に必須です	
過去5年間の学会等参加実績(第5号様式) G単位: 10単位以上	学会等参加実績(必須) 構成学会の年次総会等への参加3回以上(うち、鍵となる学会の年次総会への参加2回以上)( )/5単位	( )単位/5単位以上	
専門医から指導医への申請の方	発表(口演・ポスター・座長・シンポジスト・教育講演)(有・無) または論文掲載(有・無)<学会誌の表紙と抄録等のコピーを提出> 専門医に認定されてからの期間内で、協会構成学会での筆頭の発表に限る		

# 専門医から専門医・指導医の申請の場合は両方をチェックしてください。

## 【共通講習K単位：社会医学系Eラーニング関連】

(Q6) 社会医学系Eラーニングのビデオの視聴・レポート作成でのK単位申請を考えております。ビデオが多くて該当するものがわからないので教えてください。

### 【回答】

社会医学系Eラーニング (<https://elr.jp/e-phgakkai/>) では、共通講習について下記のタイトルのビデオを提供しております。

※指導医講習、および選択受講項目となるコンテンツはございません。

それぞれK単位の1単位としてカウントされるビデオで、EラーニングではK単位を計3単位取得することができます。

ご申請の際は、下記のビデオをご視聴の上、所定の書式「必修共通講習(Eラーニングシステム)受講レポート様式.docx」にてビデオの視聴レポートをご作成のうえ、添付してください。

医療安全：【医療安全・倫理・感染症対策】鮎澤純子\_病院の安全管理

医療倫理：【医療安全・倫理・感染症対策】小林真一\_我が国における臨床研究倫理に関する諸問題

感染症対策：【医療安全・倫理・感染症対策】緒方剛\_公衆衛生・社会医学分野の感染症

レポート様式は下記お知らせ記事最下段に掲載しております。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2133/>

また、IDおよびパスワードをお忘れの際は社会医学系eラーニングコンソーシアム事務局へお問い合わせ下さい。

e-mail: [ph-e-learningc@jpha.or.jp](mailto:ph-e-learningc@jpha.or.jp)

(Q7) 私は経過措置専門医として認定され、今回更新に向け準備しております。経過措置専門医の更新要件の「(1)基本プログラム(7科目×7時間)49時間を受講していること」は共通事項のK単位の更新と同じカウントになりますか？

**【回答】**

基本プログラムの受講と選択受講項目のK単位は別カウントとなります。

**【共通講習K単位関連：構成学会以外の受講で申請】**

(Q8)「医療倫理」「感染対策」「医療安全」の単位申請について、〇〇学会で受講したものを今回の更新で利用したいと考えております。申請時に添付すべき書類・注意事項を教えてください。

**【回答】**

協会構成学会・団体以外の主催のものでも、一般社団法人日本専門医機構が認定している共通講習は、本協会においても同等のものとして取り扱い、K単位としてご申請可能です。

受講についてはeラーニングや大学などでの施設内講習などもお認めします。

更新申請の際には、受講証明書または受講を確認できるもの(受講履歴画面のコピーなど)が必要です。「医療倫理」「感染対策」「医療安全」のどの分野に該当するか委員会で確認しますので、受講された講習タイトルが参照できる資料を添付してください。

(Q9) 共通講習(感染、医療安全、倫理)の証明書には、主催者の印鑑のあるものだけが有効ですか。

## 【回答】

受講証明書に必要事項(主催者名、専門医[指導医]の番号、専門医[指導医]の氏名、単位数、開催日、開催場所[オンラインの場合はその旨]など)が記載されていれば、主催者の印鑑がないものも有効とします。

なお、共通講習受講証明書(サンプル)は、以下のホームページに掲載しております。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

### 共通講習受講証明書(案)

No \_\_\_\_\_

**受講者**  
氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_\_ 年(西暦) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
所属 \_\_\_\_\_  
専門領域名 \_\_\_\_\_ 専門医番号 \_\_\_\_\_

**受講講習会**  
講習会名・講習演題名 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

登録番号 \_\_\_\_\_  
開催年月日 \_\_\_\_\_ 年(西暦) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
開始時間・終了時間 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
開催場所 \_\_\_\_\_  
施設の区分 \_\_\_\_\_  
カテゴリー区分 \_\_\_\_\_ 単位数: \_\_\_\_\_

上記の通り受講したことを証明します  
一般社団法人 社会医学系専門医協会  
(主催者名)

---

### 受講証明書事務局控

No \_\_\_\_\_

**受講者**  
氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_\_ 年(西暦) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
所属 \_\_\_\_\_  
専門領域名 \_\_\_\_\_ 専門医番号 \_\_\_\_\_

**受講講習会**  
登録番号 \_\_\_\_\_  
開催年月日 \_\_\_\_\_ 年(西暦) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
カテゴリー区分 \_\_\_\_\_ 単位数 \_\_\_\_\_



### 【K単位 社会医学系分野に関連する講習の申請】

(Q10) 私は2017年6月に〇〇という講習会を受けました。これはK単位だと何単位、どの項目に相当でしょうか？(受講証の添付はない)

### 【回答】

K単位の区分問い合わせにつきまして受講証の記載内容、社会医学系専門医協会や主催学会・団体のホームページ等をご確認の上、適宜手元の受講証を添付のうえメールにてお問い合わせください。

### 【G単位関連】

(Q11) 私は20XX年XX月の第XX回〇〇学会学術集会に参加しました。受講証を紛失してしまいましたが、申請は可能でしょうか？救済措置していただけないでしょうか？

### 【回答】

受講証・参加証の添付がない場合、G単位・K単位の単位申請が認められない場合があります。

また、社会医学系専門医協会では受講証の再発行・参加証明の照会はいたしかねます。

なお、参加証を紛失された場合でも、学会参加費の明細書や教育講演、シンポジウム座長、一般演題筆頭演者等を同時申請されている場合は、添付された抄録コピー等をもって審査の結果、単位付与をする場合がございます。

## 【G単位 学会活動の申請】

(Q12) 私は行政の〇〇委員を務めておりますが、非公開の組織の為、添付できそうな資料がありません。更新時にどのようにすればよいでしょうか？

## 【回答】

添付資料がない場合、担当委員会で申請単位が認められない場合がございます。先生のお名前や組織名、日時等以外の箇所は黒塗りとなっても結構なので参照できる資料の手配をお願い申し上げます。

(Q13) 行政機関設置の審議会、検討会等の委員等について、委嘱状がありません。更新時にどのようにすればよいでしょうか？

## 【回答】

委嘱状がない場合は、委員会名簿を提出してください。

(Q14) 「行政機関主催の会議等への説明担当者等の役割を有する参加」について、1回で1単位だが、同じ内容の説明を別々の会議に5回行った時は5単位としてカウントできますか。

## 【回答】

カウントできます。

(Q15) 私の〇〇Journal(構成学会ではない海外の学会誌)に投稿した\*\*\*という論文は「社会医学系の論文」でしょうか？

【回答】

論文要旨を添えてご申請ください(最終的には委員会判断になります)。

(Q16) 構成学会の特設ページ用に執筆しました。G単位の申請はできるでしょうか？

【回答】

現状ご申請頂いても認めうる項目はございません。

(Q17) 行政機関設置の審議会、検討会等の委員について、委員名簿はありますがその都度の出席者名簿がない場合がほとんどで、出席の有無は最終的には膨大な「議事録」を確認しなければ確認できません。特に国の委員会はほとんどがこのパターンです。県の委員会は都道府県によって対応が様々のようです。このような場合、委員の委嘱状(又はそれに相当するもの)と委嘱期間の証明(又はそれに相当するもの)を貼付しその委嘱されている期間中に開催された委員会一覧を添付し、年に1件を2単位として計算していただいてはいかがでしょうか。

【回答】

委員の委嘱状(又はそれに相当するもの)と委嘱期間の証明(又はそれに相当するもの)を貼付しその委嘱されている期間中に開催された委員会一覧を添付して提出してください。

(Q18) 昨年A県の保健所を退職し、指導医・専門医としての活動も終わらせてもらうつもりで登録を辞退いたしました。しかし、今年4月1日からB県の要請で、一日6時間勤務ではありますが、保健所長として復帰することとなりました。若手の医師も保健所に配属となっております。ついては、指導医・専門医の登録を復活して頂くことはできませんでしょうか。

### 【回答】

指導医・専門医の認定有効期間中であれば、資格を辞退した場合でも、遡及して資格を有していたとして、元の登録番号で復活できます。

ただし、資格を消失していた期間中の分も年間登録料は納めていただきます。

資格の復活後の更新時期は、資格が続いていたとみなして運用し、更新時期が来れば事務局から連絡いたします。

(Q19) 審査料については、あくまでも更新に係る書類の審査に係る費用であり、審査結果が可でない場合(単位数の不足等で更新できない場合)であっても返金はされないという理解でよろしいでしょうか。

**【回答】**  
その通りです。

(Q20) 単位の不備等で更新とならなかった場合、資格の扱いはどのようになりますか。

**【回答】**  
現在の指導医・専門医の認定有効期間の満了をもって、当該指導医・専門医の資格は失効します。

# 社会医学系医師の育成・確保に向けた 取り組みについて

社会医学系専門医協会 業務執行理事  
順天堂大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座  
和田 裕雄



## ◆本発表における利益相反の開示

本発表に関連して、共同演者含め  
開示すべき利益相反に該当する項目はありません。

厚生労働省科学研究費  
健康安全・危機管理対策総合研究事業  
公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に  
向けた研究（平成31年～令和2年）

シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医  
師のキャリアとコンピテンシーの確立（令和3年～令和4年）

X

社会医学系専門医協会

# 社会医学系専門医協会を構成する 学会および諸団体

## 構成学会（8学会）

日本衛生学会

日本医療情報学会

日本産業衛生学会

日本疫学会

日本公衆衛生学会

日本災害医学会

日本医療・病院管理学会

日本職業・災害医学会

## 構成団体（6団体）

全国衛生部長会

全国保健所長会

地方衛生研究所全国協議会

全国機関

衛生学公衆衛生学教育協議会

日本医師会

日本医学会連合



# 背景

1. 持続可能な社会を構築するためには、世代を超えて健康に留意する必要があるが、社会医学領域の諸活動の維持・向上が求められるが、そのためには社会医学系**医師の確保と育成**が重要かつ喫緊の課題である。
2. ~~昨年までの調査・研究の結果、社会医学系専門医のキャリアとコンピテンシーの明示が求められることが明らかとなった。~~
3. キャリアの最初は、医学教育である。その特徴：
  - **サイエンスと哲学が背景**にある。
  - 常に**進歩している（研究の重要性）**。
  - **臨床と実践がベース**にある。

# 目的

1. 社会医学系医師のキャリアおよびコンピテンシーの明示に関する厚生労働科学研究の成果および社会医学系専門医協会との共同作業を紹介する。
  - ① ウェブコンテンツの紹介
  - ② 社会医学系専門医協会の広報活動の紹介
  - ③ 他領域の学会との協働作業
2. 医学他領域のシームレスな垂直・水平統合の観点から考察を加える。

# 目的

1. 社会医学系医師のキャリアおよびコンピテンシーの明示に関する厚生労働科学研究の成果および社会医学系専門医協会との共同作業を紹介する。

① ウェブコンテンツの紹介

② 社会医学系専門医協会の広報活動の紹介

③ 他領域の学会との協働作業

2. 医学他領域のシームレスな垂直・水平統合の観点から考察を加える。

# ◆WEBコンテンツの作成

WEBコンテンツ作成には、特に力をいれ、マーケティングの手法およびプロの意見を取り入れた。

コンテンツ	役割	特徴	数
動画	認知向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 閲覧（視聴）のハードルが低い</li><li>・ 印象に残りやすい</li><li>・ 深いコンテンツは作れない</li></ul>	1
マンガ	理解促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 動画と記事の中間的立ち位置</li></ul>	1
記事	自分ゴト化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 閲覧のハードル高い</li><li>・ 深いコンテンツは作りやすい、</li><li>・ 最後まで読めば印象に残りやすい</li></ul>	12

# 動画

社会医学系専門医の魅力を2分ちよつとでご紹介!!



時代のニーズに即した専門性を育むため、2017年に始動した社会医学系専門医制度。

患者個人の病気やけがを治すのが臨床医の役目なら、コミュニティ、自治体、国、世界、そして地球全体を対象に社会全体を視野に入れ、疾病予防、研究開発の推進、保健・医療制度の構築など人々の健康を守るのが社会医学系の仕事です。COVID-19をはじめとするさまざまな脅威が毎年のように上塗りされるかのような今、注目の専門医です。

# マンガ



くなおたる大

後期 市中 狙撃 学 内科 興味



# インタビュー記事

宇田 英典先生

社会医学系専門医協会理事長／地域医療振興協会執

亀田 義人先生

千葉大学医学部附属病院病院長企画室特任講師

高橋 千香先生

東京都大田区保健所感染症対策課長

西浦 博先生

京都大学大学院医学研究科教授

野田 博之先生

内閣官房新型インフルエンザ等対策室

玉腰 暁子先生

北海道大学大学院医学研究院・  
医学院社会医学分野公衆衛生学教室教授

杉山 雄大先生

国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター医療政策研究室室長  
／筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野准教授

加藤 杏奈先生

花王（株）全社産業医

近藤 祐史先生

厚生労働省健康局健康課地域保健室  
地域健康危機管理対策専門官

西 晃弘先生

Department of Epidemiology, UCLA Fielding School of Public Health

山本 尚子先生

WHO 事務局長補

平木 秀輔先生

北野病院 医療情報部長



# WEBコンテンツ紹介③：インタビュー記事 第一回 宇田英典先生



マイナビRESIDENT 医学生・研修医のための総合情報サイト

トップ 自分医局 メッセージ 病院検索 カンファレンス広

トップ > お役立ち > 社会医学系専門医の「いま・未来」

連載 社会医学系専門医の「いま・未来」

「生命や健康のインフラ」たる  
社会医学のプロフェッショナルを育む

INTERVIEW 01

一般社団法人 社会医学系専門医協会  
理事長 宇田 英典先生

時代のニーズに即した専門性を育むため、2017年に始動した社会医学専門医制度。臨床医学以外の領域で専門医資格が取得できる点でも注目を集め、初年度から100人を超える専攻医応募があり、話題を呼びました。ここでは、社会医学系専門医協会で理事長を務める宇田英典先生に、自身のキャリアを振り返りながら、本制度に込められた思いについて語っていただきました。

—— 公衆衛生の重要性を離島医療の現実から学んだ

まずは宇田先生が医学の道を志したきっかけを教えてください。

わが家は医師の家系ではありませんでしたが、理系科目が得意だったことから、高校時代の進路選択で医学部を視野に入れていました。ちょうど自治医科大学が設立されたタイミングで、縁あって1期生として入学しました。面映いですが、入学試験の一環として各都道府県で行われる一次面接で、「アルベルト・シュヴァイツァーのような医師になりたい」と答えたことを覚えています。

自治医科大学は「医療に恵まれない地域における医療を確保する」という趣旨の下に設立された教育機関です。私も卒業後はその精神に則り、出身地である鹿児島県のへき地で臨床医として働き始めました。義務年限である卒業後9年間、主に奄美大島、藍島（こしきしま）列島などでの離島医療に従事した後、国立公衆衛生院（現・国立保健医療科学院）での1年間の研修を経て、保健所や県庁に勤めました。以来、公衆衛生分野の医師として様々な取り組みをしながら現在に至ります。

当初は臨床で活躍していた宇田先生が、公衆衛生に興味を持った理由は何ですか。

きっかけの一つとなったのは、離島医療の経験でした。たとえば奄美大島の診療所に勤めていた時は、その南にある加計呂麻島、与路島、請島なども船で巡回するんです。患者さんの中には精神障害や認知症を抱えていたり、がんが進行していたりと、困難な状況にある人も少なくありませんでした。そうした人を見てみると、医療を宅配するように往診するだけでなく、疾病が発症・重症化する前の予防や、地域の医療サービスのマネジメントが欠かせないんじゃないか、と考えるようになったのです。また、臨床医と行政サイドのコミュニケーションがスムーズにいかない場面も経験し、橋渡しとなれる医師がもっと必要だと実感しました。



進路を決める上では、そのとき厚生省（当時）の医系技官として鹿児島県に出向されていた郡司篤見先生からも大きな影響を受けました。社会医学、特に公衆衛生学が担う役割の重要性を先生から詳しく教えていただいたからです。今でも印



# WEBコンテンツ紹介④：教室・部門紹介スライド： 帝京大学、東邦大学

## 帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座

◆問い合わせ連絡先  
E-mail: hph-support@med.teikyo-u.ac.jp  
HP (研究室・診療科): <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/hph>

主任教授 大久保 孝義  
 教授 榑 菊谷 昌浩  
 准教授 滝山 敬  
 講師 辰巳 友佳子  
 助教 北川 裕子、松田 彩子  
 大学院公衆衛生学研究科 教員  
 客員・非常勤教員 (野村 恭子 客員教授、他多数)

### 衛生学公衆衛生学講座の特色

**大学院生・研究生等の指導体制**  
大久保孝義主任教授以下、スタッフ一丸での指導・各学生のバックグラウンドや卒業に目指す進路に応じた疫学・臨床研究の指導

**幅広い研究分野**  
様々なプロジェクト (大迫研究、NIPPON DATA、HOMED-BP研究、等)に参加した研究活動  
上記のプロジェクトを通じて**国際共同研究**のための短期・長期海外留学が可能

**主な国際共同研究**  
・IDACO (ヘルギー・ルベン大学)  
自由行動下血圧測定コホートの国際メタ分析  
Lancet, 2007;370:1219-1229.  
・PSC (英国・オックスフォード大学)  
世界の循環器コホートメタ分析  
Lancet, 2007;370:1829-1839.  
・OXD-PC (米国・ジョンズ・ホプキンス大学)  
腎疾患を指標としたコホート研究のメタ分析  
Lancet, 2010;375:2073-81.  
・ICBP-GWAS (英国・ロンドン大学)  
高血圧ゲノムワイド関連解析国際コンソーシアム  
Nature, 2011;478:103-9.  
・その他、ハワイ大学・シドニー大学・シカゴ大学、等

### 幅広い研究分野

臨床との両立  
内科 (高血圧・循環器・糖尿病・腎臓内科等)、精神科、麻酔科、家庭医療、地域医療など様々なバックグラウンドを持つ医師の研究を実施

他部門と連携した教育・研究活動  
大学院公衆衛生学研究科 (SPH)との連携  
・日本で初めての独立した公衆衛生学の専門職大学院  
・疫学、生物統計学、保健行政学・医療管理学、行動科学、健康教育学、環境衛生学・産業保健学など、様々な領域の専門家が集まる  
・修士コースの講義との単位交換・聴講などが可能  
・帝王・ハーバードプログラムの一環として、ハーバード大学、ケンブリッジ大学等の講師による特別講義や、国際シンポジウムを定期的に開催  
・ジャーナルクラブ・学会発表セミナー等を通じた研究指導  
帝京アカデミックリサーチセンター (IARO)との連携・セミナー等を定期開催

### 研究紹介

**大迫 (おおはさま) 研究**

- 世界的家庭血圧基準を作ったコホート
- 高血圧・循環器疾患を中心に、生活習慣・遺伝的要因から心理社会的因子まで幅広い要因との関連分析を継続中
- 150を超える原著論文、各国の臨床高血圧ガイドラインの根拠

NIPPON DATA

- 日本国民を代表する集団20000人の追跡調査  
→ 無作為に抽出された集団300地区の集団
- 厚労省研究班として実施
- 動脈硬化学会ガイドライン等の臨床ガイドラインの根拠
- 厚労省健康日本21の根拠

帝京大学研修医・大学院生を対象に  
ジャーナルクラブ・学会発表セミナーを定期開催

- Journal clubとは  
海外の一流雑誌の最新研究を読み解く
- 学会発表セミナー  
・ 初期研修中に学会発表を経験させる
- ・ 後期研修の教育環境を充実
- ・ 学会発表資料の作成指導
- ・ 研究デザイン相談
- ・ 論文指導

## 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野

ー疫学をコア領域として、環境・社会とのかかわりあいの中で健康問題をとらえ、その解決を目指しますー



**当教室で実施している研究の特徴として、大きく2つが挙げられます。**

- 1. テーマの多様性**  
当教室では、疫学を主たる方法論としてさまざまな研究を行っています。ここに紹介した以外にも、産業保健分野の研究、小児を対象としたライフコース疫学研究、高齢者研究、臨床科との共同による臨床研究など多岐にわたります。教員、大学院生、客員研究員が、それぞれの専門をいかしながら、いっしょに研究に取り組んでいます。
- 2. 現場主義**  
研究のフィールドを求めて、大学外、病院外に出ていく機会が多いのも当教室の特徴です。映画ではありませんが、「事件は現場でおきている」からです。環境保健、北域保健、産業保健、学校保健、などそれぞれの現場に向かい、その問題解決に資する研究を心がけています。  
衛生学は本来非常に学際的であり、医学以外の学問体系、方法論の協力も必要です。多方面からの多くの人材がこの分野に参入していただけることを望んでいます。

教授 西脇 祐司  
准教授 朝倉 敬子  
講師 道川 武蔵  
助教 今村 晴彦

(教室HP <https://www.lab.toho-u.ac.jp/med/hygiene/index.html>)

**栄養素・食品摂取量の正確な記述と食事の健康に対する影響の検討**

現代の日本人が何を食べているのかを正確に記述し、問題がいかか調べています。食事摂取、食生活の健康影響を検討し、適切な摂取のあり方を探索していきます。また、食習慣改善法の開発を試みます。

ビタミンD由中濃度値が高い人が多い！  
(25(OH)D平均値 40.7%, 冬値72.2%)

経口摂取するビタミンDは、70%以上が魚介類に由来する！



血液中ビタミンDの濃度  
北海道5市における住民のビタミンD充足度調査

## 疫学 Epidemiology

"An epidemiologist needs dirty hands and a clean mind."  
Geoffrey Rose

### 教室紹介

### 環境疫学

出席2日間の二酸化炭素濃度が早期乳癌の発生と関連していた！  
Epidemiol. Inf. 2017;145:e156  
環境要因は、子宮内発生乳癌と胎児期発症乳癌の発生に与える影響を解析  
乳癌発生後に呼吸器疾患による小児死亡リスクが増加していた！  
Epidemiol. Inf. 2017;145:e160  
乳癌発生後に呼吸器疾患による小児死亡リスクが増加していた！  
Epidemiol. Inf. 2017;145:e160

### 大気汚染や環境化学物質が健康に与える影響の検討

個人ではそれとさらされること(暴露)を制御できないあるいは制御しにくい要因である大気汚染や環境化学物質などを対象とし、それらが我々の健康に与える影響を調べたり予防や対策に結びつける研究を行っています。

- 分科協会の研究の展開  
医学、工学、法学、経済学、農学など
- 環境改善に資する知見の発信

### 社会的な"つながり"が健康に与える影響の検討

各々の自治体と共同で、地域住民を対象とした疫学調査を実施し、地域のつながりやネットワーク (信頼感や近所づきあい) や家族関係、健康ボランティア (保健指導員) 活動などの様々な"つながり"が、自己として、健康との関連を探究しています。

## 栄養疫学 社会疫学

近所づきあいが多い町内会単位で見たほうが健康に良い影響が多い！  
Epidemiol. Inf. 2017;145:e161

健康ボランティア活動がある町内会では健康に良い影響が多い！  
Epidemiol. Inf. 2017;145:e162



町内会単位での健康ボランティア活動  
長野県5市における健康ボランティア活動の健康影響の調査  
(長野県5市: 長野市、上田市、佐久市、茅野市、小川市)









# 教室・部門紹介のスライド

現在までに11大学、3機関からスライド、WEBサイトURLを収集した

大学	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	スライド
	筑波大学医学医療系ヘルスサービスリーチ分野	スライド
	千葉大学病院病院長企画室病院経営管理学研究センター	スライド
	順天堂大学医学部公衆衛生学講座	スライド
	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座	スライド
	東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学	URL
	東京慈恵会医科大学環境保健医学講座	URL
	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野	スライド
	浜松医科大学健康社会医学講座	スライド
	京都大学医療経済学分野	スライド
	大阪大学公衆衛生学教室	スライド
機関	地方衛生研究所 全国協議会岡山県環境保健センター	URL
	全国保健所長会	スライド・URL
	労働者健康安全機構	URL

医療経済学分野 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野  
 今中 謙一 教授 / 佐々木 典子 准教授 / 國澤 進 准教授 / 大坪 敬也 講師(併任) /  
 原 広司 助教(産連本館) / 上松 弘典 特任助教 / 後藤 俊 助教 / 中野 貴史 助教

【ミッション】医療の質・効率・公正性を、可視化し向上し、持続性ある医療システムの構築に貢献する。  
 ・政策とエビデンス、地域医療システム、健康・医療・介護の連携のまちづくりを推進。  
 ・国際協定・共同研究の推進、あらゆる学際的・多領域的知識と連携を統合し取り入れる。

医療経済学 分野  
 医療をよくしたい  
 介護や保健をよくしたい  
 現場やシステムをよくしたい  
 意志とエネルギーをもつ人  
 来たれ!

Big Data 根元からの管理・活用  
 ○ 全国多施設よりインタラクティブにデータ収集(DPCデータ+経営等+テーマ毎調査データ)  
 ○ 500超の病院参加  
 ○ 約1,500病院 DPCデータ厚労省指定研究がベース

臨床アウトカム研究  
 リスク調整したアウトカム指標の開発  
 (プロセスやシステムの研究も多数)  
 AIの活用

CIROS研究  
 医療の質を改善するための研究  
 医療の質を改善するための研究

医療の質を改善するための研究  
 医療の質を改善するための研究

学生の活動  
 泉南町の医療にふれる会  
 学会発表(国内・国外)  
 教室メンバー

医療経済学分野 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野  
 今中 謙一 教授 / 佐々木 典子 准教授 / 國澤 進 准教授 / 大坪 敬也 講師(併任) /  
 原 広司 助教(産連本館) / 上松 弘典 特任助教 / 後藤 俊 助教 / 中野 貴史 助教

【フューチャビリティ】本学の多岐の学際・学際医療・介入試験と医療・教授設計・臨床研究の高度な人材の育成、国の事業との連携、臨床研究の多岐にわたる学際協働ネットワークと産学連携・産官連携の推進。  
 ・産学連携・産官連携の推進、あらゆる学際的・多領域的知識と連携を統合し取り入れる。

医療経済学 分野  
 医療をよくしたい  
 介護や保健をよくしたい  
 現場やシステムをよくしたい  
 意志とエネルギーをもつ人  
 来たれ!

Big Data 根元からの管理・活用  
 ○ 多数の都道府県医療・介護・健診の全データ  
 ⇒ 地域医療計画・地域医療情報  
 介護保険事業計画、保健事業 等々  
 ○ 国・都道府県のビッグデータ

臨床アウトカム研究  
 リスク調整したアウトカム指標の開発  
 (プロセスやシステムの研究も多数)  
 AIの活用

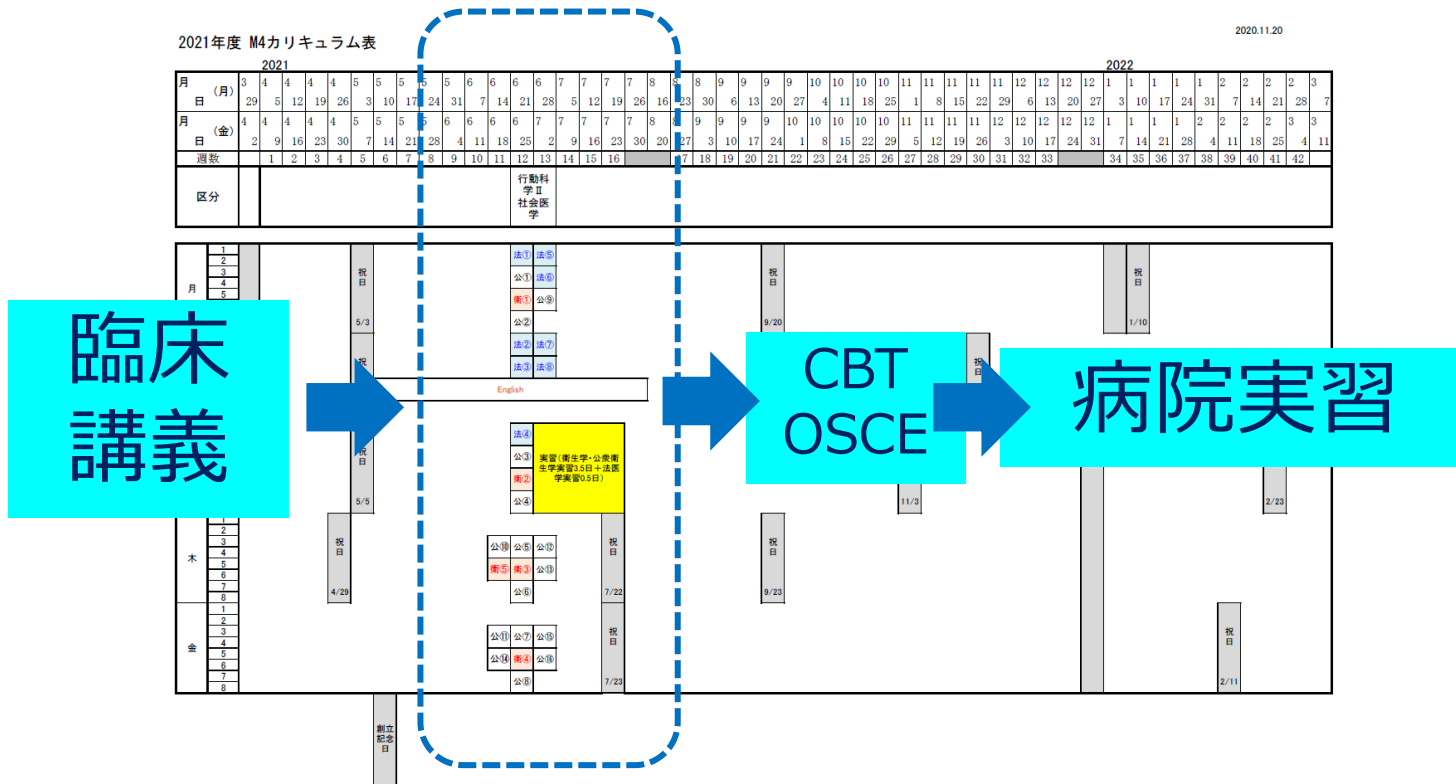
CIROS研究  
 医療の質を改善するための研究  
 医療の質を改善するための研究

医療の質を改善するための研究  
 医療の質を改善するための研究

学生の活動  
 泉南町の医療にふれる会  
 学会発表(国内・国外)  
 教室メンバー

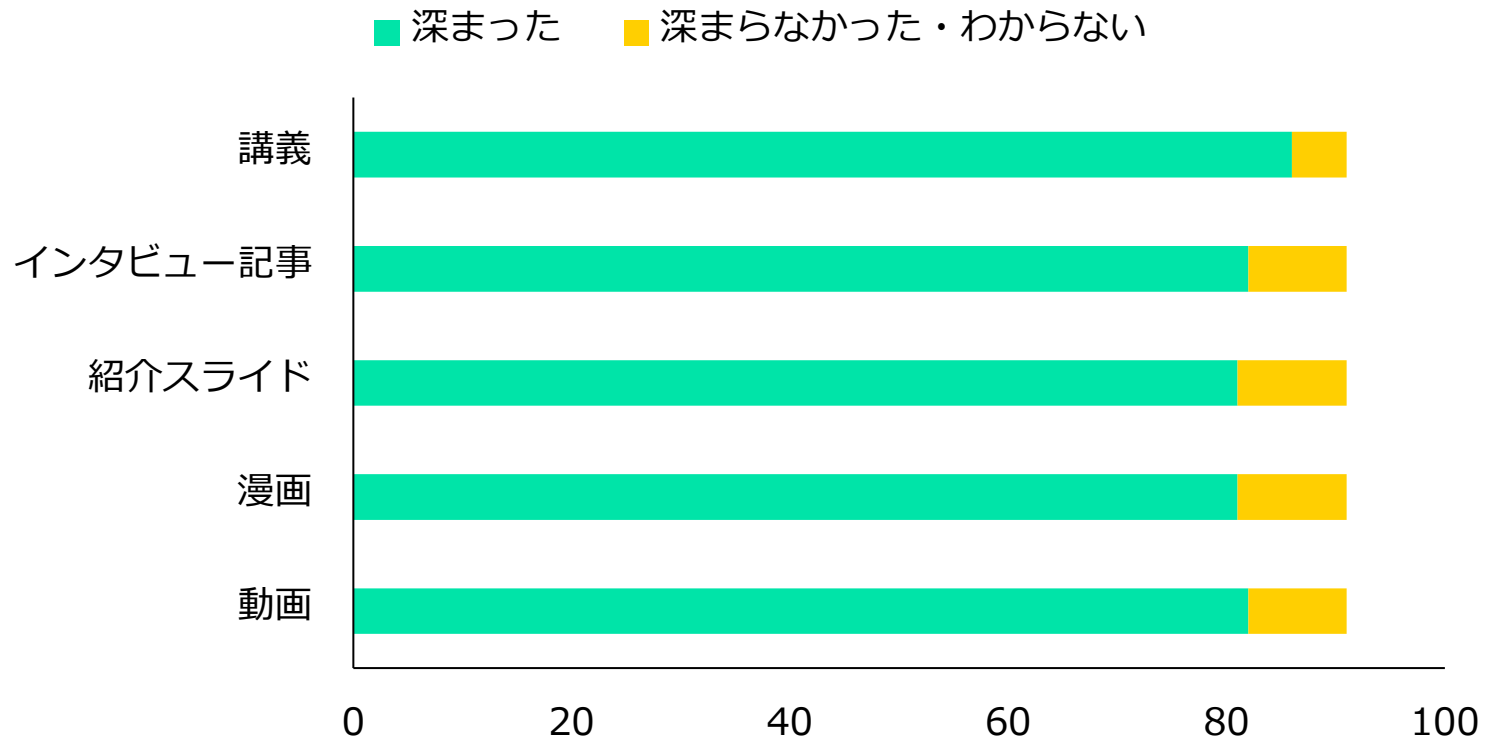
# コンテンツを用いた キャリア教育と質問票調査

2021年度のM4学生（臨床講義終了後一病院実習前）



# ◆コンテンツへの学生の反応

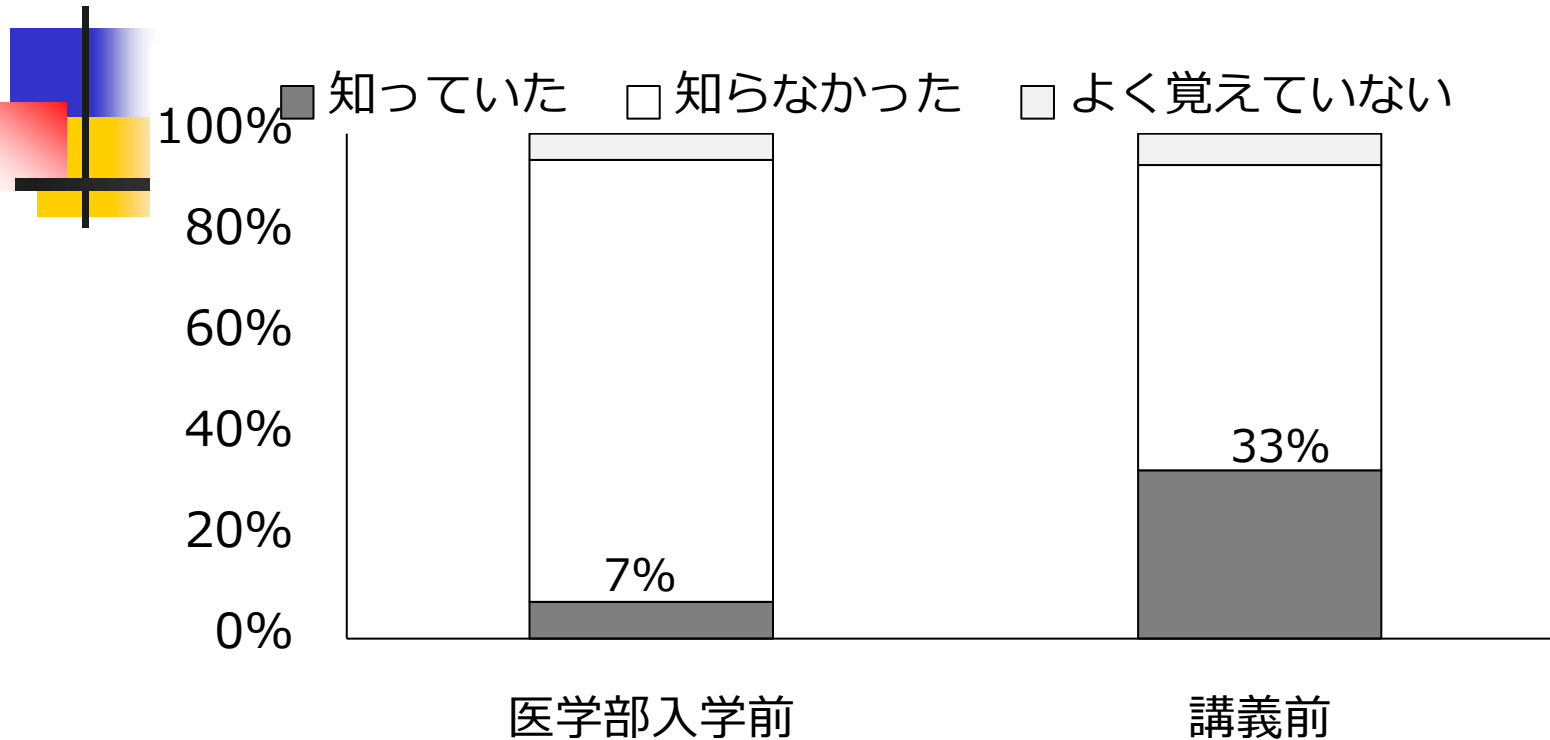
本講義で紹介した以下のコンテンツから、社会医学系キャリアについて理解が深まりましたか？



## ◆コンテンツへの学生の反応

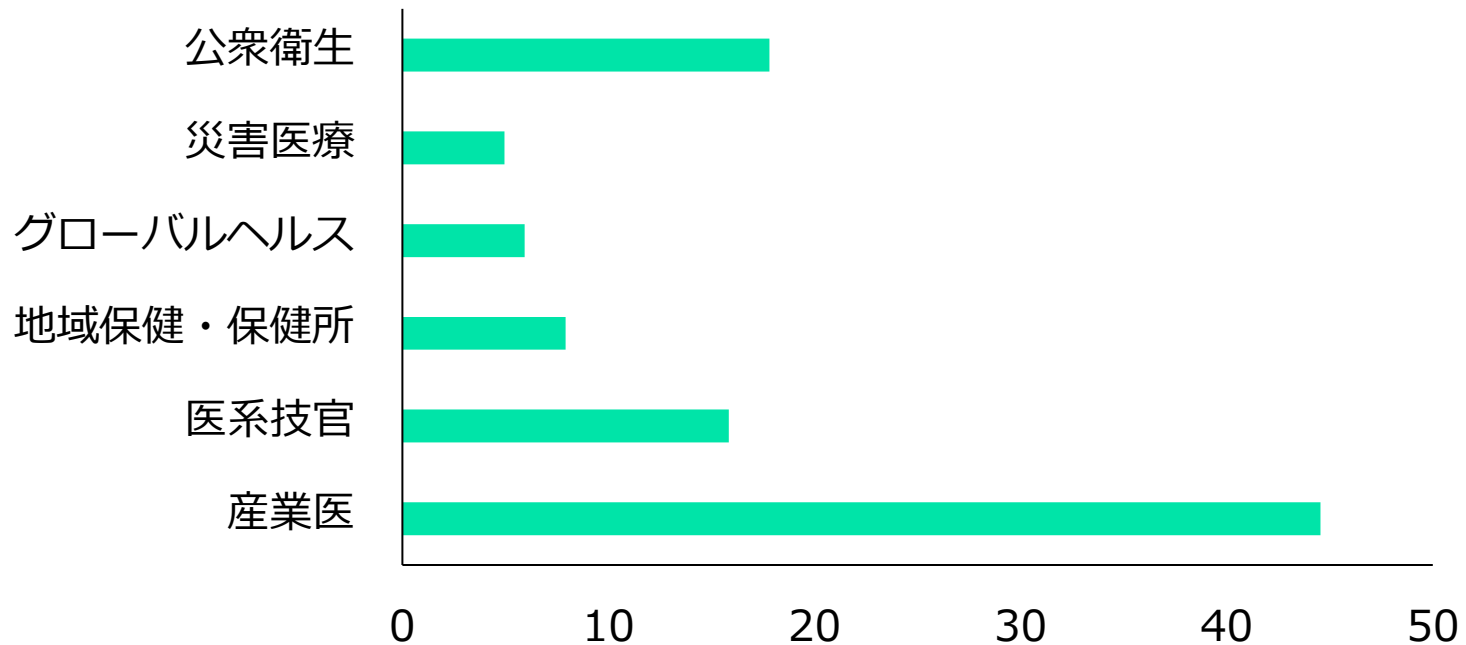
大学入学前（高校生の時）に社会医学系領域のキャリアについて知っていましたか？

本講義の前に社会医学系領域のキャリアについて知っていましたか？



# ◆コンテンツへの学生の反応

社会医学系キャリアの仕事に就くとしたらどのような仕事が良いですか？



# 目的

1. 社会医学系医師のキャリアおよびコンピテンシーの明示に関する厚生労働科学研究の成果および社会医学系専門医協会との共同作業を紹介する。
  - ① ウェブコンテンツの紹介
  - ② 社会医学系専門医協会の広報活動の紹介
  - ③ 他領域の学会との協働作業
2. 医学他領域のシームレスな垂直・水平統合の観点から考察を加える。

# ◆社会医学系専門医協会のHP

## 情報発信



The screenshot shows the homepage of the Japan Board of Public Health and Social Medicine (JBPMSM). The header includes the organization's logo and name in Japanese and English. A navigation menu is located below the header, with the '情報発信' (Information Release) item highlighted in a red box. A green arrow points from the '情報発信' text above to this menu item. The main content area features a large image of hands holding a small plant, and a section titled 'お知らせ' (Notice) with a 'more >' button. At the bottom, there are two news items dated December 17, 2021.

一般社団法人 社会医学系専門医協会  
Japan Board of Public Health and Social Medicine

お知らせ | 概要 | 専門医制度 | 研修プログラム | 講習会 | Q&A | **情報発信**

お知らせ

more >

2021年12月17日 現在障害発生中につき臨時ページで運用しています。

2021年12月17日 専門医・指導医の更新審査の予定について（2017年認定の専門医および指導医の皆様）

euzen.co.jp/rngj



# ◆ウェブコンテンツ格納

The screenshot shows the website for the Japan Board of Public Health and Social Medicine (JBPISM). The header includes the organization's name in Japanese and English, along with navigation links for 'お知らせ' (Notice), '概要' (Overview), '専門医制度' (Specialist System), '研修プログラム' (Training Program), '講習会' (Seminar), 'Q&A', and '情報発信' (Information Dissemination). A search bar and links for 'ニューズレター' (Newsletter) and '求人情報' (Job Information) are also present.

The main content area is titled '情報発信' (Information Dissemination) and features a video player. The video is titled '社会医学系専門医について (約2分)' (About Social Medicine Specialists (approx. 2 minutes)). The video player shows a man running through a stylized landscape with red sun icons and blue shapes. A text overlay on the video reads '毎年上塗りするかのようにもたらす' (To be brought about like repainting every year). Below the video player, there is a '見る YouTube' (Watch on YouTube) button.

時代のニーズに即した専門性を育むための、2017年に始動した社会医学系専門医制度。患者個人の歴史やけがを治すのが臨床医の役割なら、コミュニティ、自治体、国、世界、そして地球全体を対象に社会全体を視野に入れ、疾病予防、研究開発の推進、保健・医療制度の構築など人々の健康を守るのが社会医学系の仕事です。COVID-19をはじめとするさまざまな脅威が毎年のように上塗りされるかのようなき、注目の専門医です

# ◆ 協会のニュースレター、HPの充実化 構成学会の総会等の情報 協会からの情報を載せる (専門医等の更新情報など)

Japan Board of Public Health and Social Medicine  
**一般社団法人 社会医学系専門医協会**  
 Newsletter Vol.5 No.1 2021\_Spring

**今号のコンテンツ**

- 新年度を迎えてのご挨拶
- 厚生労働省科学研究費に関する御報告
- 第31回日本疫学会学術総会報告
- 第90回日本衛生学会学術総会報告
- 学術総会のご案内
- 事務局からの連絡

新年度を迎えてのご挨拶

社会医学系専門医協会 理事 今中 雄一

社会医学系専門医制度が、有力8学会6団体の連合で2017年4月にスタートし5年目に入り、これまで専攻医プログラムをフルに修了し試験も乗り越えた専門医が輩出され、全国各地の専攻医研修システムの充実化・確立も進んでいます。

○ COVID-19で、パブリックヘルス活動、社会医学の重要性が、社会的に大きく注目されています。保健所や地域行政、国の行政、感染症学や行動科学、災害対策、感染制御・安全対策、社会福祉等における予防・健康管理、情報管理、医療システムなど、社会における重要性が再認識されます。

○ 制度開始当初に、専門医、指導医となった方は、今年度が更新の年度となります。更新書類の受付は、6月～12月に受付可です(詳細は「[お知らせ](#)」に)。

○ 専門医・指導医そして専攻医の皆さんがアクセスできるeラーニング(<https://elearning.vchankai.jp/>) テンツも大幅に増えています(約70コンテンツ⇒約400コンテンツ)。ぜひ活用してください。社会医学系のテーマを幅広くカバーしています。

Vol.5 No.1 p.1

Japan Board of Public Health and Social Medicine  
**一般社団法人 社会医学系専門医協会**  
 Newsletter Vol.5 No.2 2021\_Summer

**今号のコンテンツ**

- 専門医・指導医の更新の手続きを
- 厚生労働省科学研究費に関する御報告(続報)
- 合同シンポジウムのお知らせ
- 第25回日本医療情報学会春季学術大会のご報告
- 事務局からのお知らせ

**専門医・指導医の更新手続きを**

社会医学系専門医協会 理事 今中雄一

COVID-19パンデミックに体を通して人々の健康を守る責務に高い敬意をもって感謝申し上げます。在、社会医学にとって極めて重要な時代となっています。社会医学系専門医制度は、創設されて5年目に入り、多くの専攻医も研修プログラムに入り、新たな専門医が次々と輩出されるようになりました。2021年度は、社会医学系専門医・指導医の候補が、制度・政策上も、生涯学習の契機としても、益々高まってくるものと見られます。

今年度は、社会医学系専門医制度の開始時に専門医・指導医の資格を得られた方々の「更新手続き」があります。その更新の要件や手続きは、一見とつづきにくいですが、実はシンプルです。

**更新の要件**

I. 社会医学系専門医協会構成8学会のいずれかに加入し、学会員を継続  
 II. 社会医学系専門医協会の年間会費を5年間、中断なく納めている  
 III. 社会医学系活動を5年間継続している(常勤・非常勤を問わない)  
 IV. 社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目で申告の記載がある(表記の項目の範囲は1項目以内)  
 以上は、当専門医・指導医を登録して社会医学系活動を継続していれば、難なくカバーされます。

V. 更新単位 (K単位:10単位、O単位:10単位)を受講証明書等で確認  
 これも難しいものではありません。受講の証明も連続に対応いたします。  
 ○心単位[学会・団体活動の実績等]では、協会の構成学会・団体の学次総会等に5年間で3回以上、継続する学会の年次総会(社員総会)への参加が必要です。  
 ○K単位[講習の受講]は、必須3単位、即ち、「[感染症](#)」「[感染対策](#)」「[eラーニング](#)」を含まず、指導医の場合、指導医講習会2回以上必須でこれらも含まれます。

**詳細は、「専門医・指導医の更新について(更新手続き・今後のスケジュールのご案内)」と「専門医・指導医 Q&A0716.pdf)」をご参照ください(下線部をクリック)。**

○ 申請時期の厳守が重要ですが、その期間が短い場合、2021年11月30日までに提出いただければ大丈夫です。  
 ○ 今回も、「コロナ禍により継続維持の活動が困難な為」等の理由がある場合、更新の延長届け出も可能です(詳細は上記お取下部をクリック)。

今後、社会ニーズが高まる時代の現れと強力な関係者の力・協働によって、社会医学系専門医・指導医の数は、必ずや強化されていきます。ぜひ、更新の手続きをお忘れなきようお願いいたします。

Vol.5 No.2 p.1

Japan Board of Public Health and Social Medicine  
**一般社団法人 社会医学系専門医協会**  
 Newsletter Vol.5 No.3 2021\_Autumn

**今号のコンテンツ**

- 2021年度の事業計画
- 厚生労働省科学研究費およびプライバシーポリシー策定に関する御報告
- 第3回専門医認定試験の実施について
- 日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムの御報告
- 学術総会のご案内
- 専門医・認定医の更新の手続きについて
- 事務局からのお知らせ

**2021年度の事業計画**

社会医学系専門医協会 理事 今中 雄一  
 事務担当理事・企画調整委員会委員長 小橋 元  
 常務執行理事(広報・総務担当) 和田 裕雄

9月20日に理事会があり、第四期(2021(令和3)年7月1日～2022(令和4)年6月30日)年度事業計画が承認されました。事業計画の概要として項目を紹介いたします。

1. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業

- 1) 指導医講習会の開催
- 2) 統括責任者連絡会議の開催
- 3) 基本プログラム講習会の開催
- 4) eラーニングの活用と運営
- 5) 更新研修会の開催(更新研修会=専門医・指導医が貯めるための研修会)

2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業

- 1) 専門医・指導医認定委員会の開催
- 2) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付
- 3) 専門医認定試験の実施と運営
- 4) 専門医・指導医資格更新基準の理解の普及
- 5) 専門医、指導医の追加認定基準に関する検討と制度化
- 6) 専門医制度の法制化を目指した活動

Vol.5 No.3 p.1

# 目的

1. 社会医学系医師のキャリアおよびコンピテンシーの明示に関する厚生労働科学研究の成果および社会医学系専門医協会との共同作業を紹介する。

① ウェブコンテンツの紹介

② 社会医学系専門医協会の広報活動の紹介

③ 他領域の学会との協働作業

2. 医学他領域のシームレスな垂直・水平統合の観点から考察を加える。

# 第53回日本医学教育学会大会

完全オンライン開催7月30日（金）10:30～12:30

## シンポジウム1 Symposium 1

7月30日（金）10:30～12:30 **2ch**

日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム  
社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育

座長：小西 靖彦（京都大学）  
磯 博康（大阪大学）

- S-01-1 社会医学を学ぶ重要性  
永井 良三（自治医科大学）
- S-01-2 政府の立場から社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育に期待すること  
佐々木 昌弘（厚生労働省）
- S-01-3 行政・保健所に向けたキャリア形成と医学教育  
内田 勝彦（大分県東部保健所）
- S-01-4 行動科学、社会科学、そして医学教育学  
錦織 宏（名古屋大学）
- S-01-5 シームレスな垂直・水平統合を志向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立  
和田 裕雄（順天堂大学）
- S-01-6 全医師のキャリア形成においてニーズが増大する社会医学的素養：  
社会医学系専門医の役割と展開  
今中 雄一（京都大学）

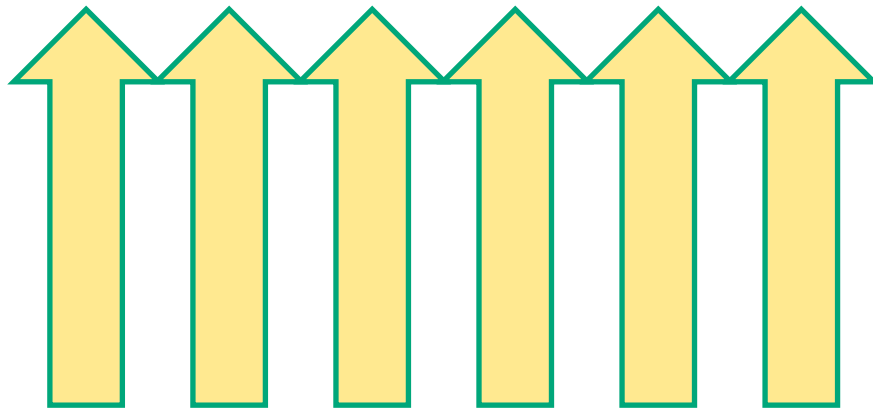
社会医学系領域の医学教育に関する現状

# 医師のキャリアの柱状化・サイロ化

長所 専門医教育に適している

短所

1. 一方、今回の新型コロナウイルスパンデミックのような健康危機の状況では、対応が難しい
2. ジェネラルな領域（総合診療、公衆衛生学など）のアピールが弱くなる
3. キャリアの明示も難しくなる



# 社会医学系領域の医学教育に関する現状

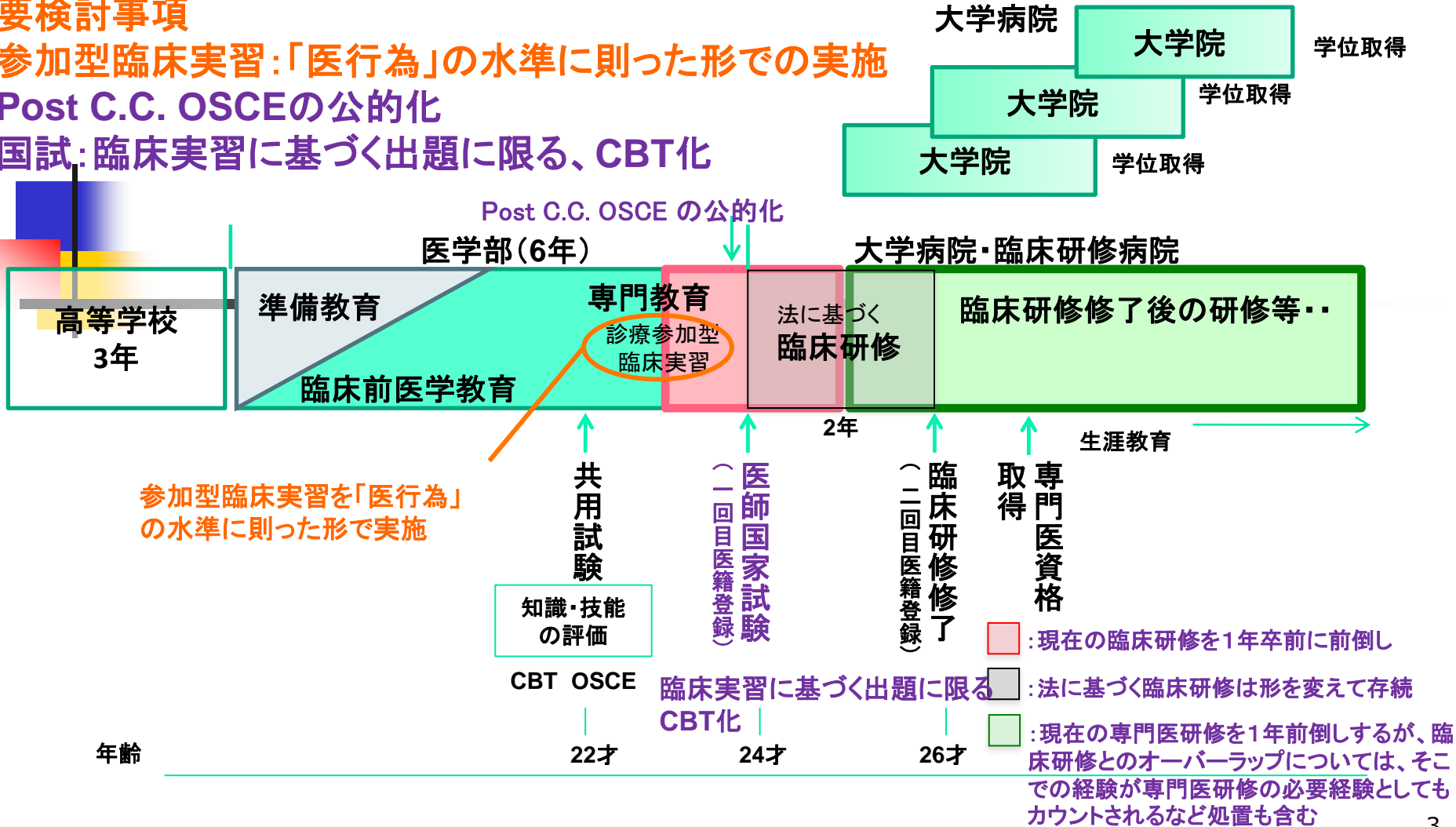
## 医師養成のための卒前・卒後教育 改革案

### 要検討事項

参加型臨床実習:「医行為」の水準に則った形での実施

Post C.C. OSCEの公的化

国試: 臨床実習に基づく出題に限る、CBT化



# 社会医学系領域の医学教育に関する現状

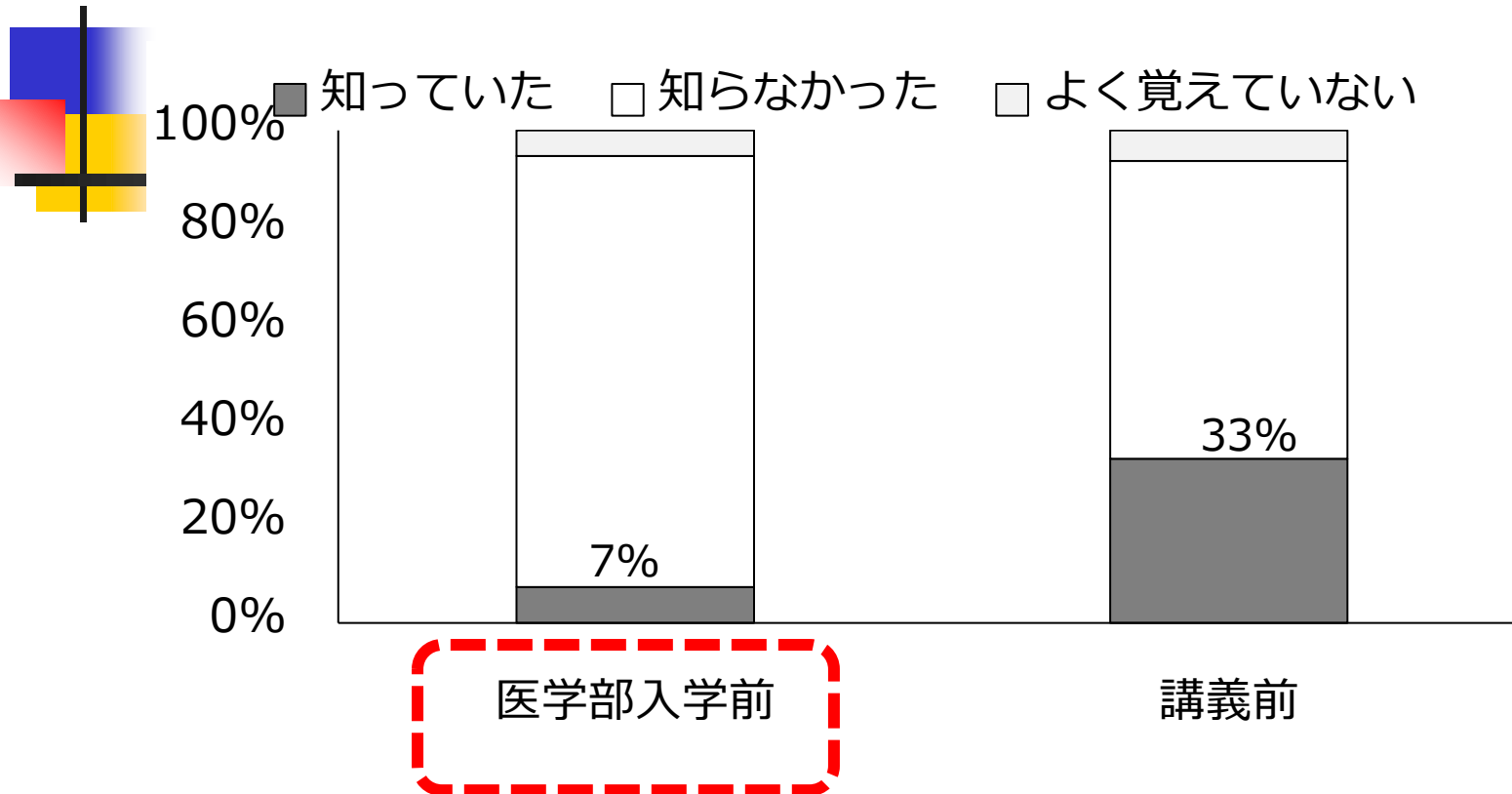
「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が令和3年5月21日に成立

1. 医師の働き方改革
2. 医療関係職種の業務範囲の見直し
3. 医師養成課程の見直し
  - (1) 共用試験合格を医師国家試験の受験資格要件とする
  - (2) 同試験に合格した医学生が臨床実習として医業を行うことができる旨を明確化
4. 新興感染症等対策の5疾病5事業への追加
5. 「病床機能再編支援事業」の地域医療介護総合確保基金への位置付け
6. 外来機能報告と「医療資源を重点的に活用する外来」
7. 持ち分の定めのない医療法人への移行計画認定制度の延長

## ◆コンテンツへの学生の反応

大学入学前（高校生の時）に社会医学系領域のキャリアについて知っていましたか？

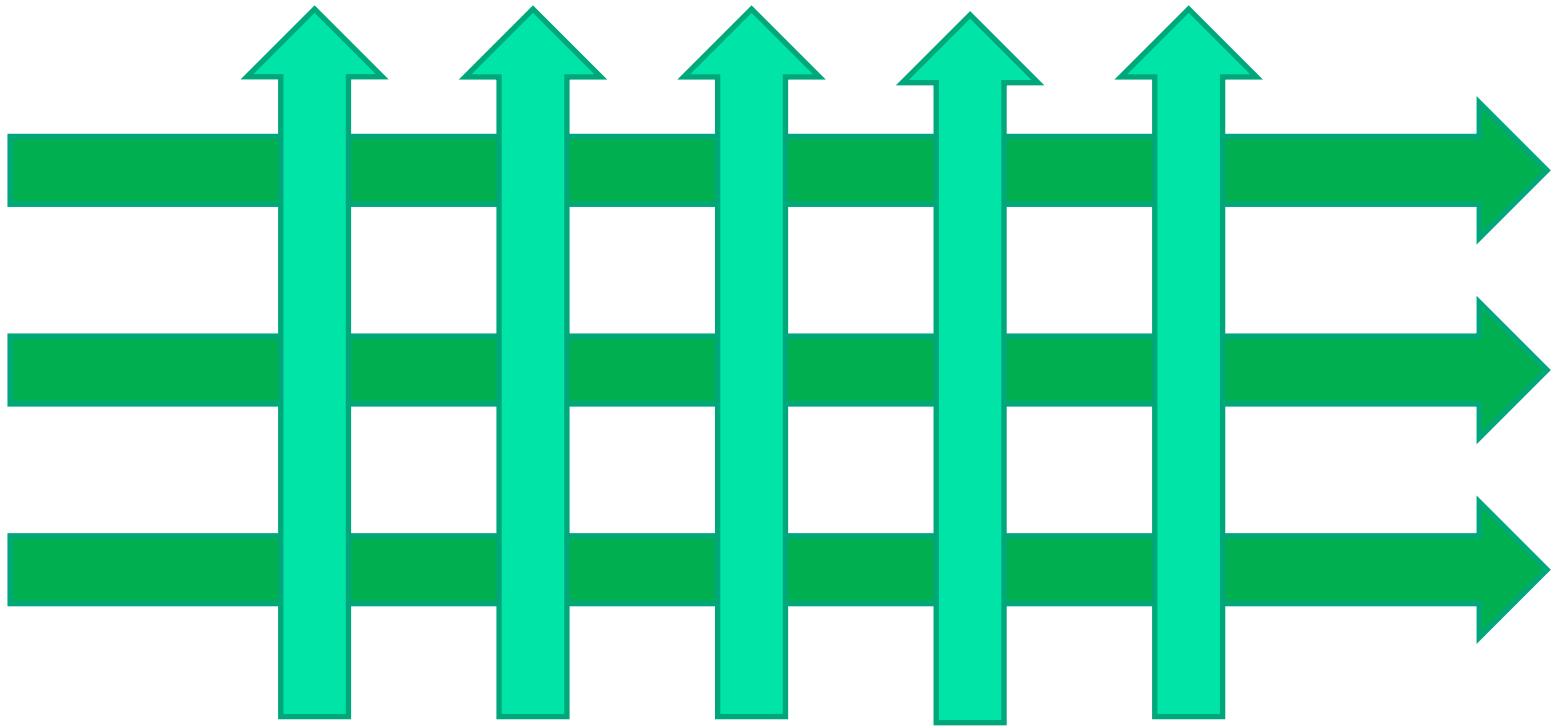
本講義の前に社会医学系領域のキャリアについて知っていましたか？





社会医学系領域の医学教育に関する現状

臓器別診療科のキャリア（縦串）の明示  
はわかりやすい



Generalな診療科のキャリア（横串）の  
明示はわかりにくい

# Generalな診療科（横串）もキャリアの 明示に苦勞している

第70回日本アレルギー学会学術集会（横浜）  
2021年10月10日（日） 8:30～10:00

## シンポジウム20

10月10日（日） 8:30-10:00 第10会場（4F G403）

### アレルギー専門医の現状と展望

司会：横山 彰仁（高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室）  
新美 彰男（名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学）

### S20-1 サブ領域専門医への期待と今後の展望

演者：渡辺 毅（日本専門医機構サブスペシャリティ領域検討委員会，東京北医療センター総合診療科，福島県立医科大学）

### S20-2 アレルギー専門医の役割と新制度への対応

演者：新美 彰男（名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学）

### S20-3 耳鼻咽喉科領域の現状と方向性

演者：松原 篤（弘前大学大学院医学部耳鼻咽喉科）

### S20-4 小児領域での現状と方向性

演者：勝沼 俊雄（東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科）

第63回日本老年医学会学術集会（ウエブ）  
2021年6月12日（土） 17:10～18:40

## シンポジウム14

### 「老年科専門医育成の今後」

6月12日（土） 17:10～18:40

座長：神崎 恒一（杏林大学医学部高齢医学）  
江頭 正人（東京大学大学院医学系研究科医学教育学部門）  
演者：江頭 正人（東京大学大学院医学系研究科医学教育学部門）  
神崎 恒一（杏林大学医学部高齢医学）  
富田 尚希（東北大学病院加齢・老年病科）  
大西 丈二（名古屋大学医学部附属病院老年内科）

# まとめ

1. 社会医学系医師のキャリアおよびコンピテンシーの明示に関する厚生労働科学研究の成果および社会医学系専門医協会との共同作業を紹介した。

ウェブコンテンツは、社会医学系専門医協会のホームページからアクセス可能です。

2. 医学他領域のシームレスな垂直・水平統合の観点から考察を加える。

皆様も是非御一考下さい。そして、後輩、仲間を増やして下さい。

# 今後の予定

1. 作成したコンテンツの効果的な拡散手法、および、その意義・効果を検証する。
2. そのための、社会医学系専門医・指導、同専攻医、他領域の医師、医学部学生を対象とした調査を計画している。

A scenic view of a city with modern buildings, a river, and a train. The text "御静聴ありがとうございました" is overlaid in yellow.

御静聴ありがとうございました